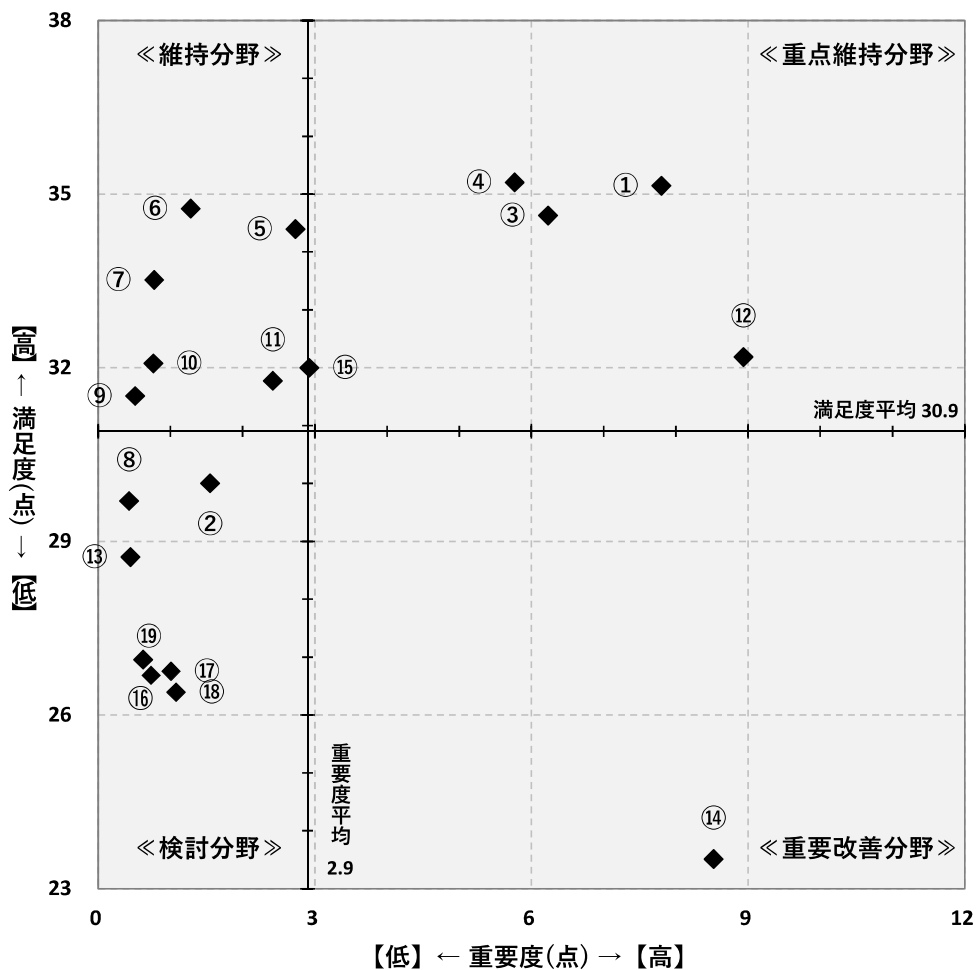


## a. 全体

- ・ 満足度が高い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
  - 1 住まいの周辺の清潔さ (35.20点)
  - 2 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (35.14点)
  - 3 樹林地や緑地との親しみやすさ (34.75点)
  - 4 住まいの周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ) (34.63点)
  - 5 市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展 (34.39点)
- ・ 満足度が低い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
  - 1 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (23.51点)
  - 2 市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ (26.39点)
  - 3 建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及 (26.75点)
  - 4 市民・事業者による地域の環境保全活動への参加 (26.96点)
  - 5 市民・事業者における省エネ行動の定着 (27.07点)
- ・ 重要度が高い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
  - 1 交通事故や洪水災害に対して安心できるまち (8.94点)
  - 2 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (8.52点)
  - 3 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (7.80点)
  - 4 住まいの周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ) (6.23点)
  - 5 住まいの周辺の清潔さ (5.77点)
- ・ 重要度が低い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
  - 1 河川・湧水等の水辺との親しみやすさ (0.43点)
  - 2 歴史的・文化的雰囲気 (0.45点)
  - 3 農業や園芸との親しみやすさ (0.51点)
  - 4 市民・事業者による地域の環境保全活動への参加 (0.62点)
  - 5 田園風景の美しさ (0.77点)
- ・ 公害(「空気のきれいさ」、「住まい周辺の静けさ」)に関する項目や「樹林地や緑地との親しみやすさ」の満足度は高い。公害に関する項目は重要度も高くなっている。
- ・ 「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」やエネルギーに関する項目(「建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及」、「市民・事業者における省エネ行動の定着」、「市民・事業者による地域の環境保全活動への参加」への満足度が低い。「水辺の親しみやすさ」、農業に関する項目(「農業や園芸との親しみやすさ」、「田園風景の美しさ」)、「歴史的・文化的雰囲気」の重要度が低い。
- ・ 「空気のきれいさ」、「住まい周辺の静けさ」と「住まいの周辺の清潔さ」、「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」、「公園や遊歩道の多さ」が重点維持分野となっている。

※ 満足度・重要度の点数化方法は103ページの「散布図の見方」を参照

■ 満足度、重要度の散布 (全体)



〈散布図〉

◆ 満足度と重要度の点数化 (回答者の平均値)

No.	項目	満足度	重要度
①	空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ)	35.14	7.80
②	河川や水路の水の清らかさ	30.00	1.55
③	住まいの周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ)	34.63	6.23
④	住まいの周辺の清潔さ	35.20	5.77
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	34.39	2.73
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	34.75	1.28
⑦	生きもの (野鳥、動植物、昆虫等) との親しみやすさ	33.52	0.78
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.70	0.43
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.51	0.51
⑩	田園風景の美しさ	32.07	0.77
⑪	街並みの美しさ	31.77	2.42
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	32.18	8.94
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.73	0.45
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	23.51	8.52
⑮	公園や遊歩道の多さ	31.20	2.93
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.07	0.84
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.01
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	26.39	1.08
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	26.96	0.62
平均		30.86	2.88

## ◎散布図の見方

白井市の環境に対する満足度及び重要度の評価をもとに、今後の方向性を整理・検討するため、各項目について、満足度及び重要度の相対的な位置付けを座標上で明らかにする「CSグラフ」を作成している。

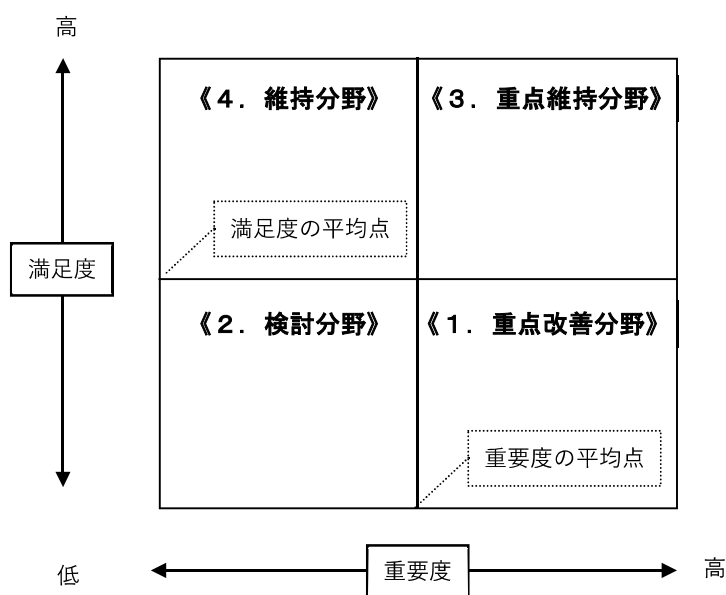
このグラフでは、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、それぞれの回答によって重み付けを行った「加重平均点」をプロットしている。座標の原点は全項目の加重平均点の平均値としている。

満足度の加重平均点は、「満足：50点、やや満足：40点、普通：30点、やや不満：20点、不満：10点」として項目ごとの回答数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの回答数で割って算出している。

重要度の加重平均点は、「1位：30点、2位：20点、3位：10点」として項目ごとの回答数を掛け合わせ、その合計点を全回答数で割って算出している。

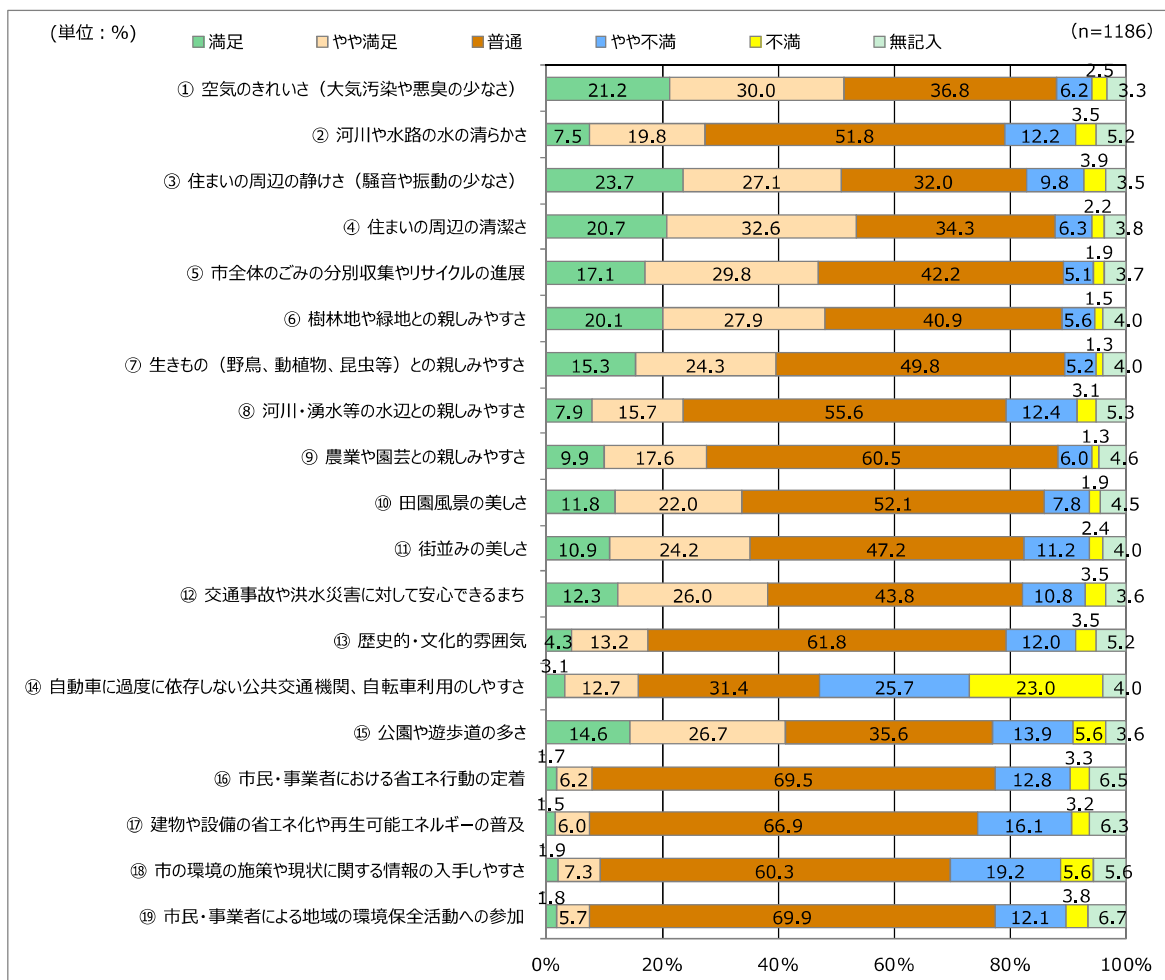
原点を中心に各項目を4つの象限に分類している。

- 《1. 重点改善分野》・・・重要度は高いが満足度が低く、今後、重点的に改善していくべき分野。
- 《2. 検討分野》・・・満足度も重要度も低く、今後、施策のあり方を検討していくべき分野。
- 《3. 重点維持分野》・・・満足度も重要度も高く、今後も現状の高い水準を重点的に維持していくべき分野。
- 《4. 維持分野》・・・満足度は高いが重要度は低く、現状の満足度を維持していくべき分野。

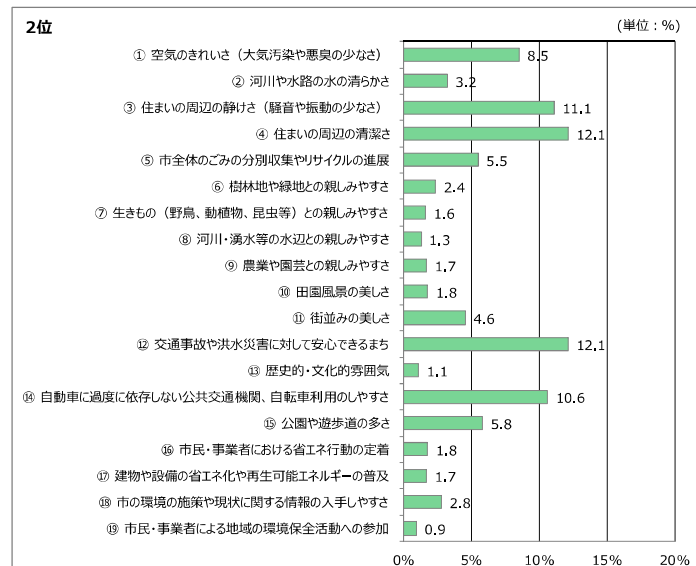
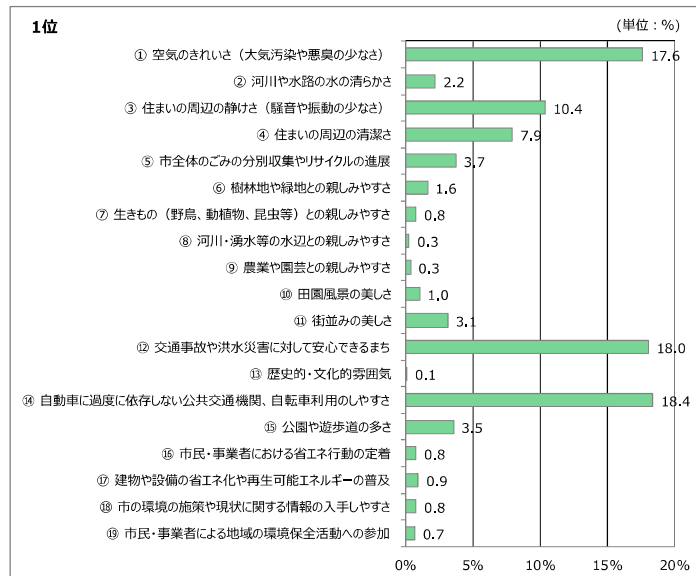


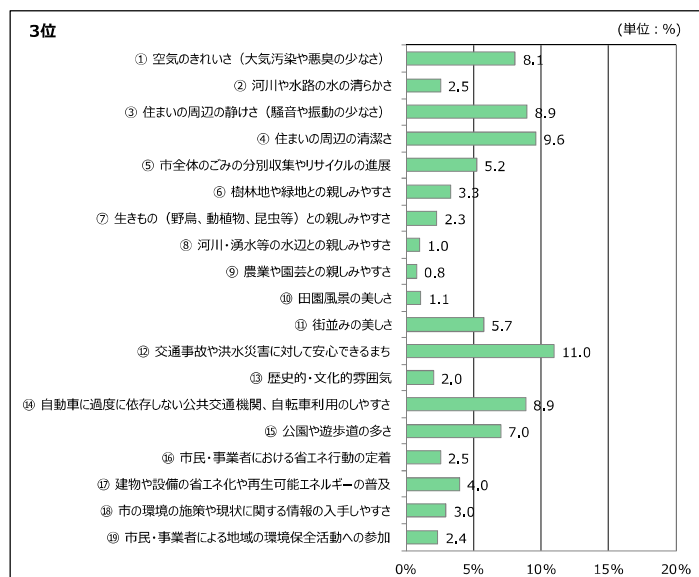
< 散布図の見方 >

満足度



● 重要度



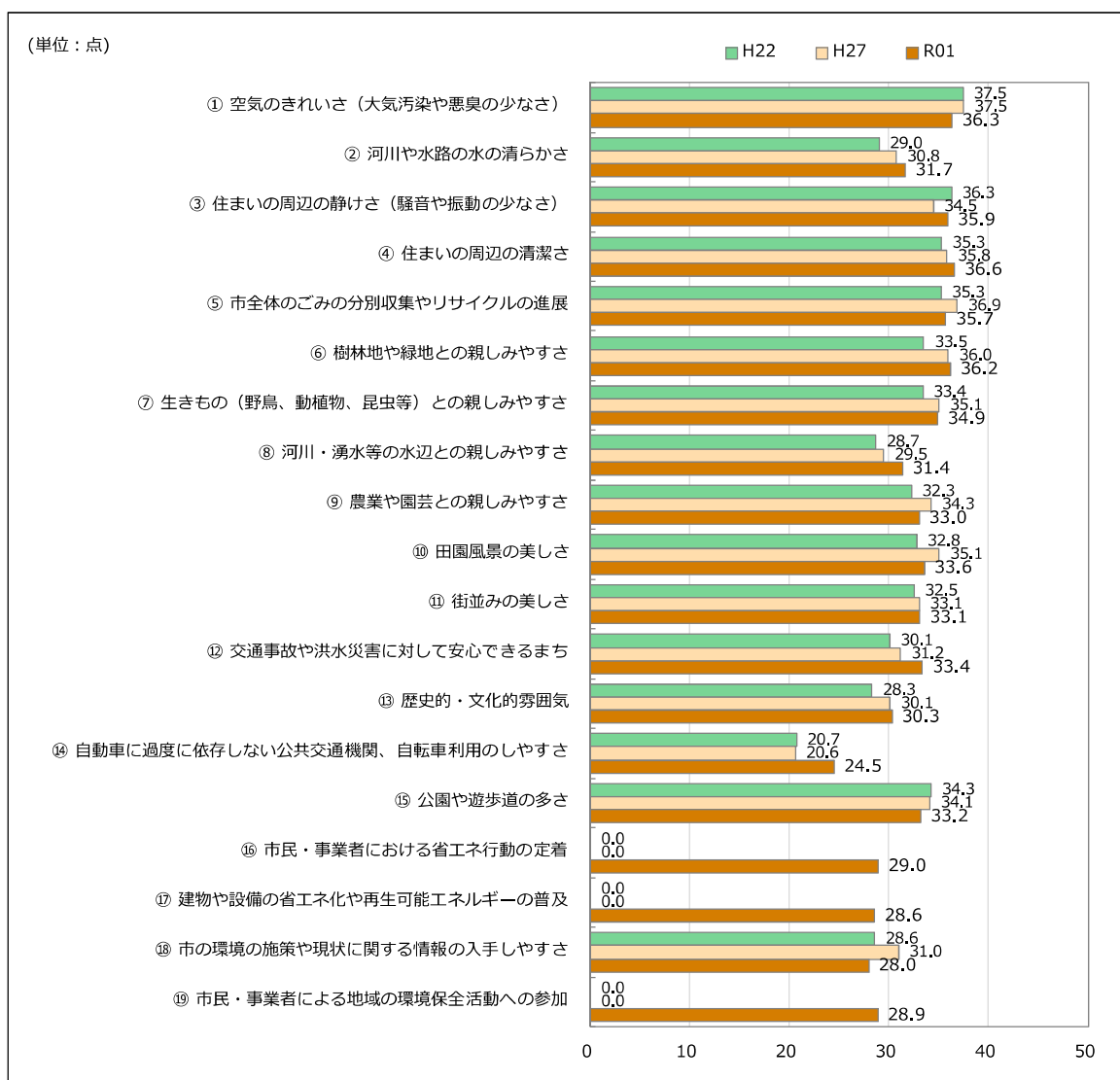


b. 経年変化

● 満足度

・H22の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が3.8点と最も増加している。また、H27の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が3.9点と最も増加している。

・H22の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の満足度が1.1点と最も減少している。また、H27の結果と比較すると、「⑱市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ」の満足度が3.0点と最も減少している。



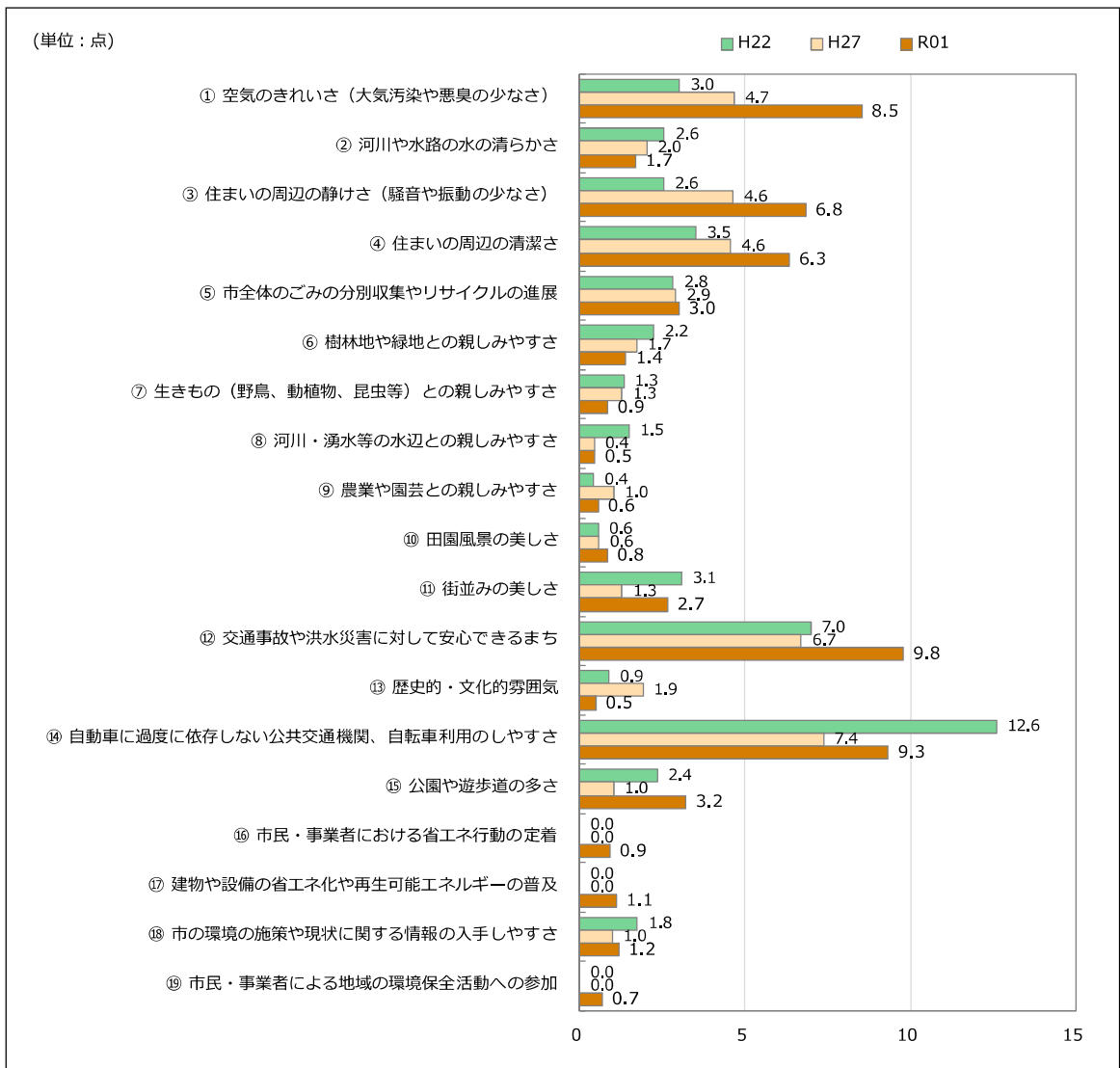
※点数は、「満足」50点、「やや満足」40点、「普通」30点、「やや不満」20点、「不満」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの全回答者数で割った「加重平均点」によって算出

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

● 重要度

・ H22の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の重要度が5.5点と最も増加している。また、H27の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の重要度が3.9点と最も増加している。

・ H22の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の重要度が3.3点と最も減少している。また、H27の結果と比較すると、「⑬歴史的・文化的雰囲気」の重要度が1.4点と最も減少している。



※点数は、「1位」30点、「2位」20点、「3位」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を全回答者数で割り「加重平均点」を算出している

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

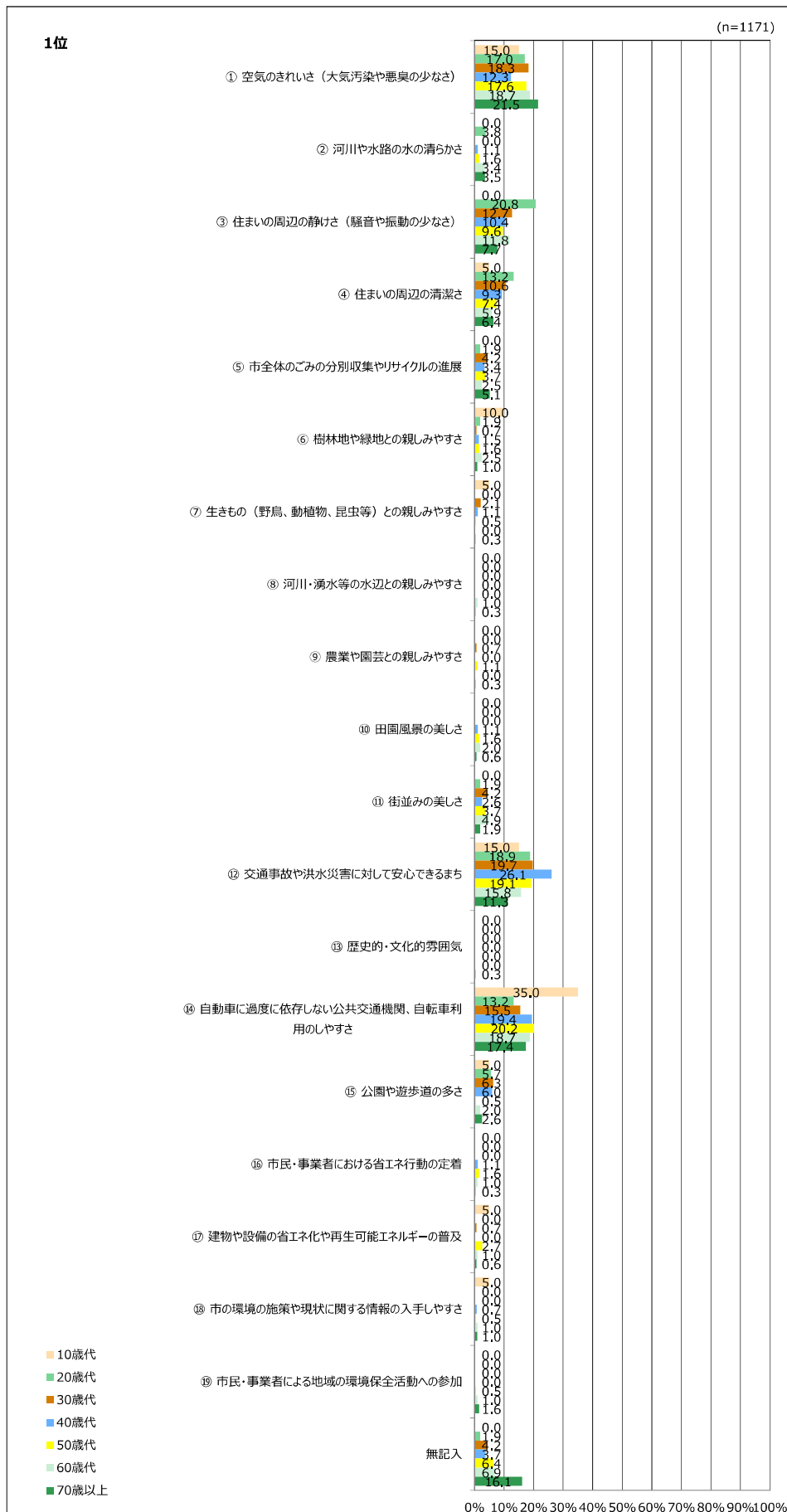


## c. クロス集計(年齢)

## ● 重要度

- ・ 1位の結果を見ると、「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」の重要度が40代で高い傾向にある。
- ・ 1位の結果を見ると、「③住まい周辺の静けさ」の重要度は20代で高い傾向にある。

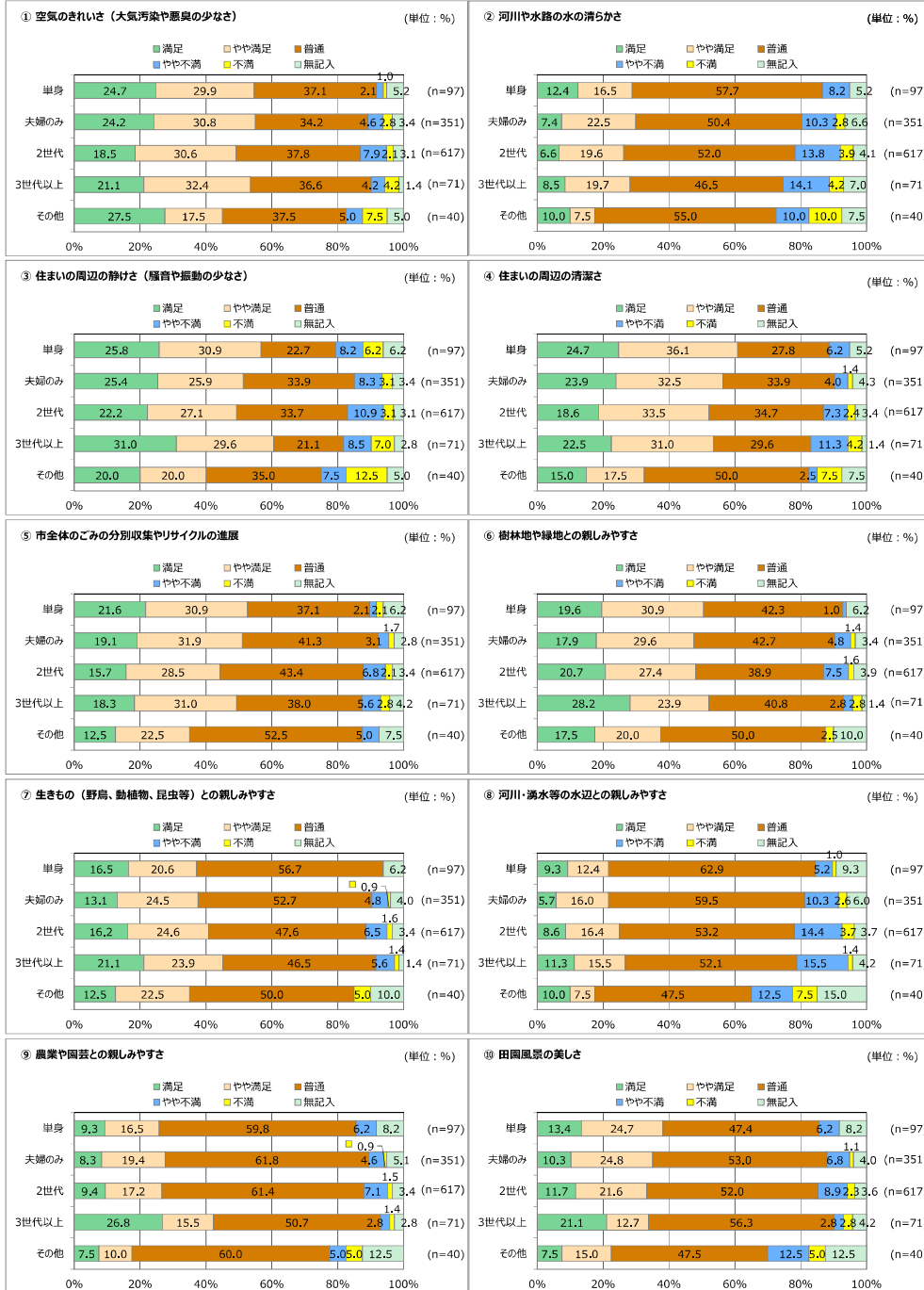
※グラフは次ページに掲載

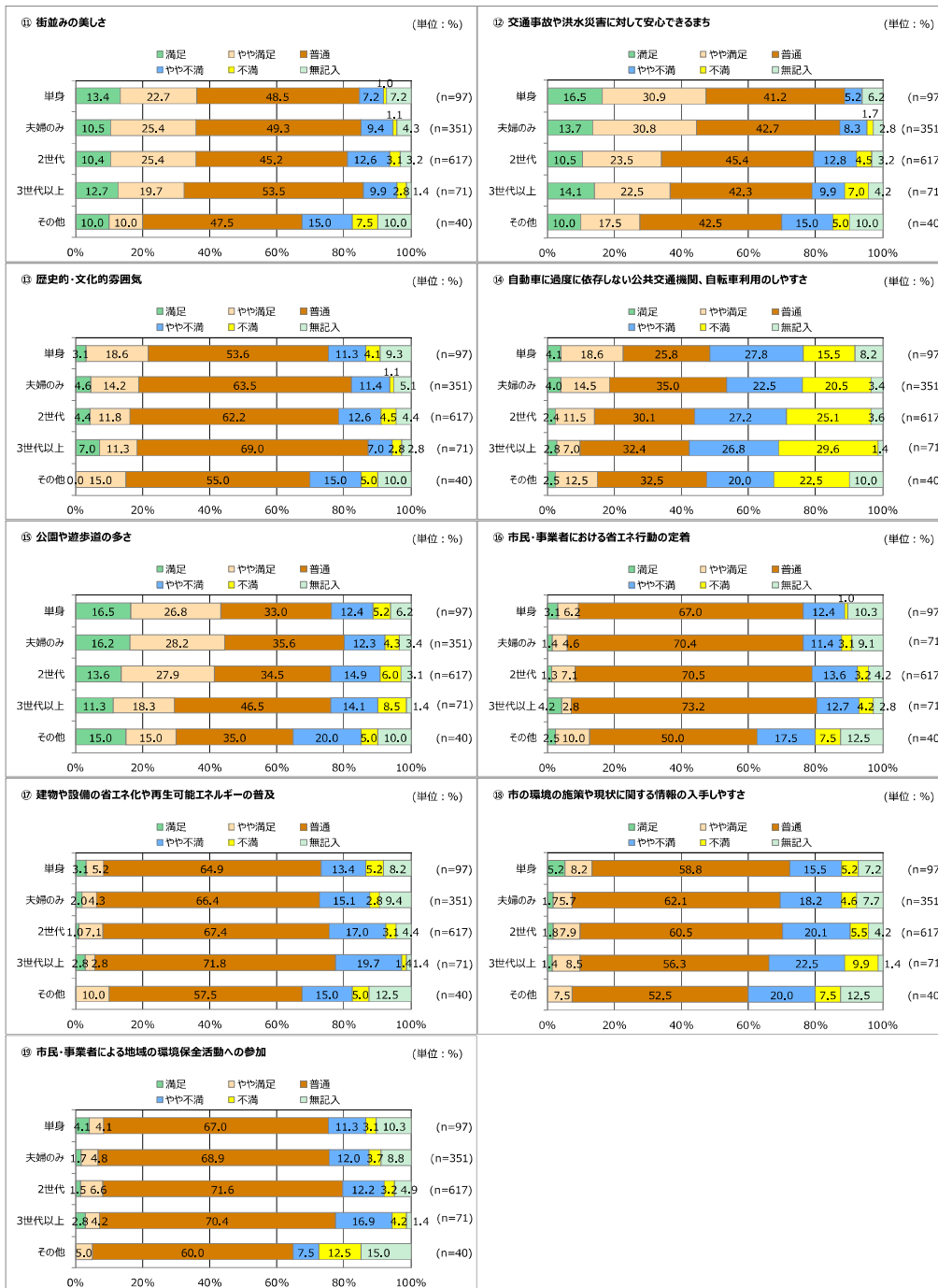


d. クロス集計(家族構成)

● 満足度

- ・「⑨農業や園芸との親しみやすさ」は3世代以上の世帯の満足度が高い傾向にある。
- ・「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は単身世帯が最も高く、同居世代が増えるほど満足度が低くなる傾向にある。

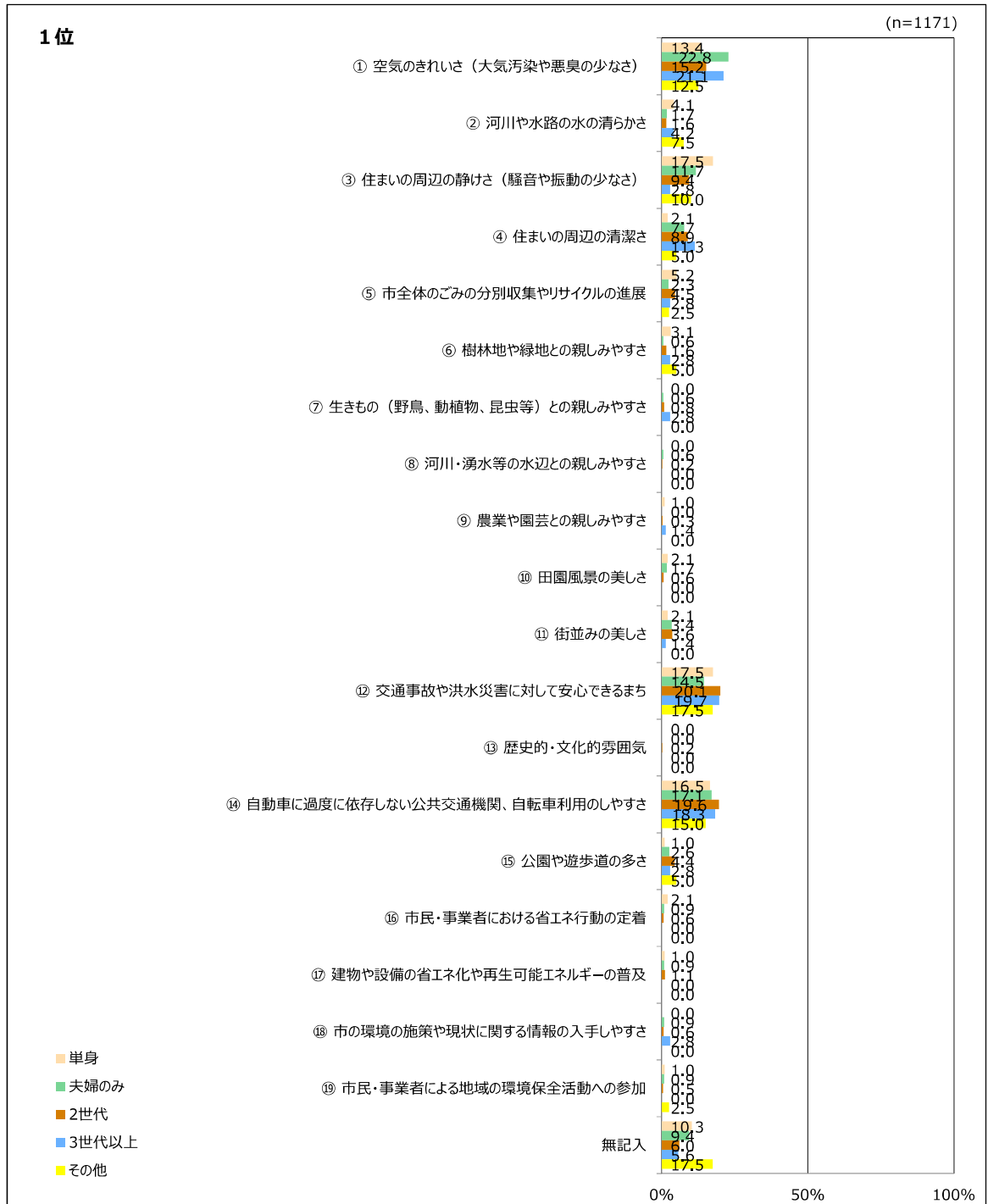




● 重要度

・1位の結果を見ると、夫婦のみ、3世代以上の世帯の「①空気のきれいさ」の重要度が高い傾向にある。

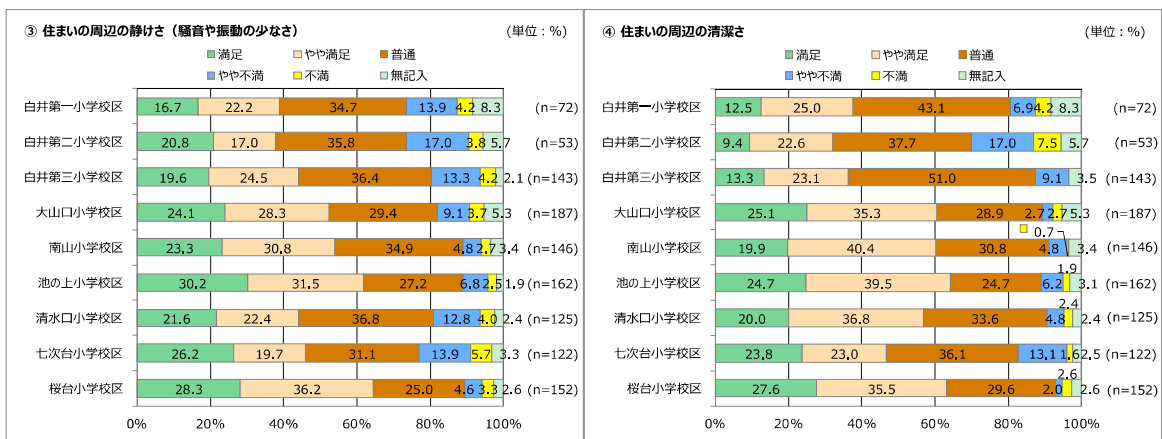
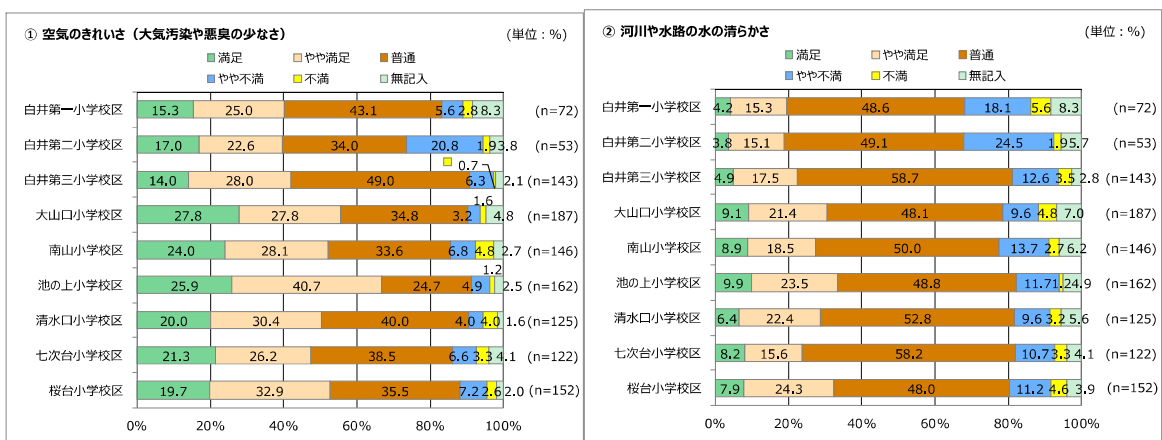
・1位の結果を見ると、単身世帯の「③住まい周辺の静けさ」の重要度が高い傾向にある。

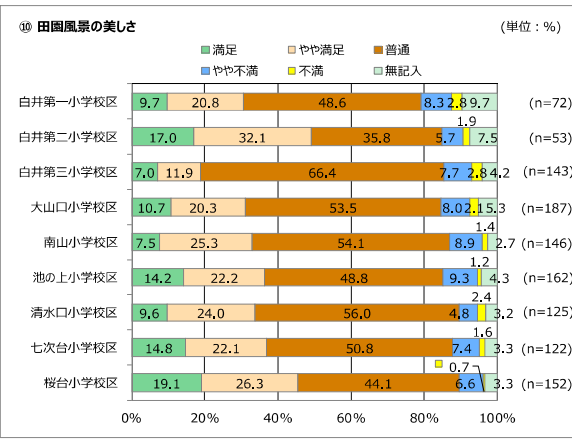
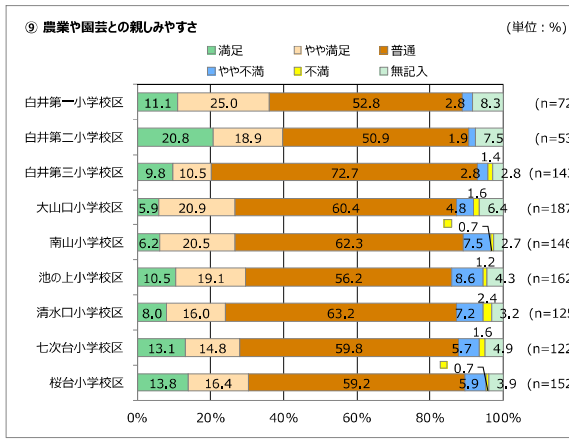
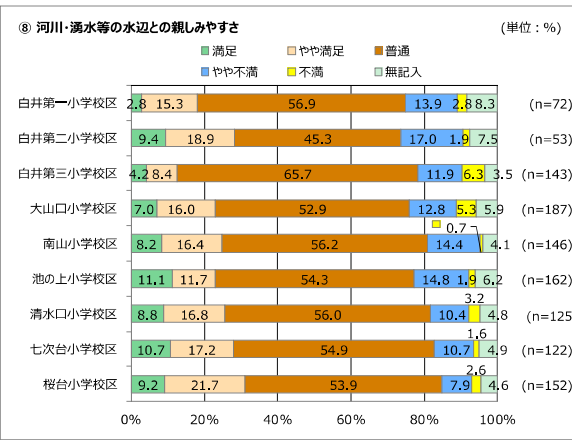
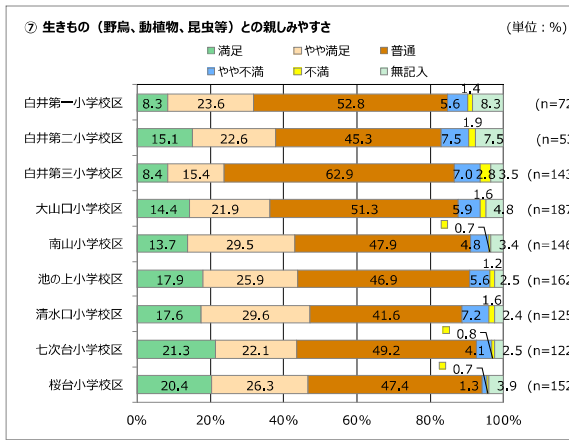
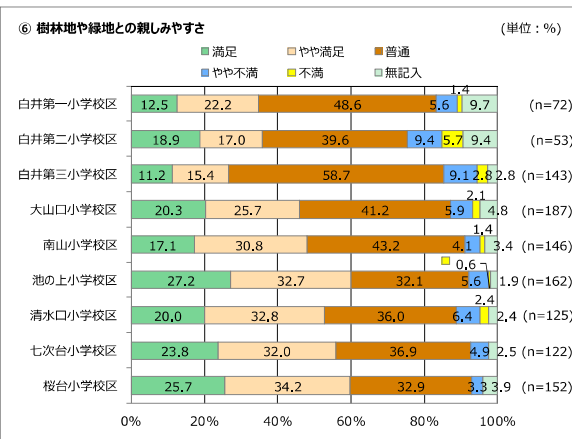
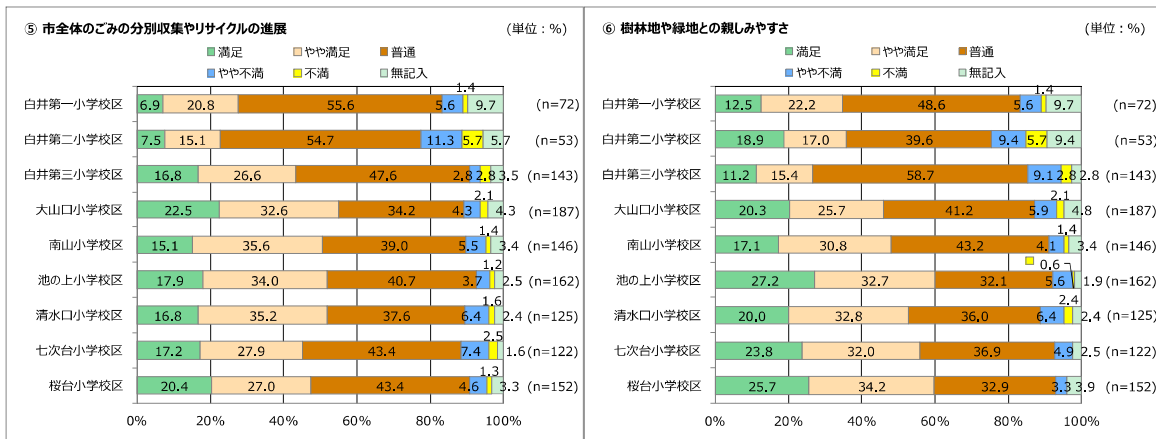


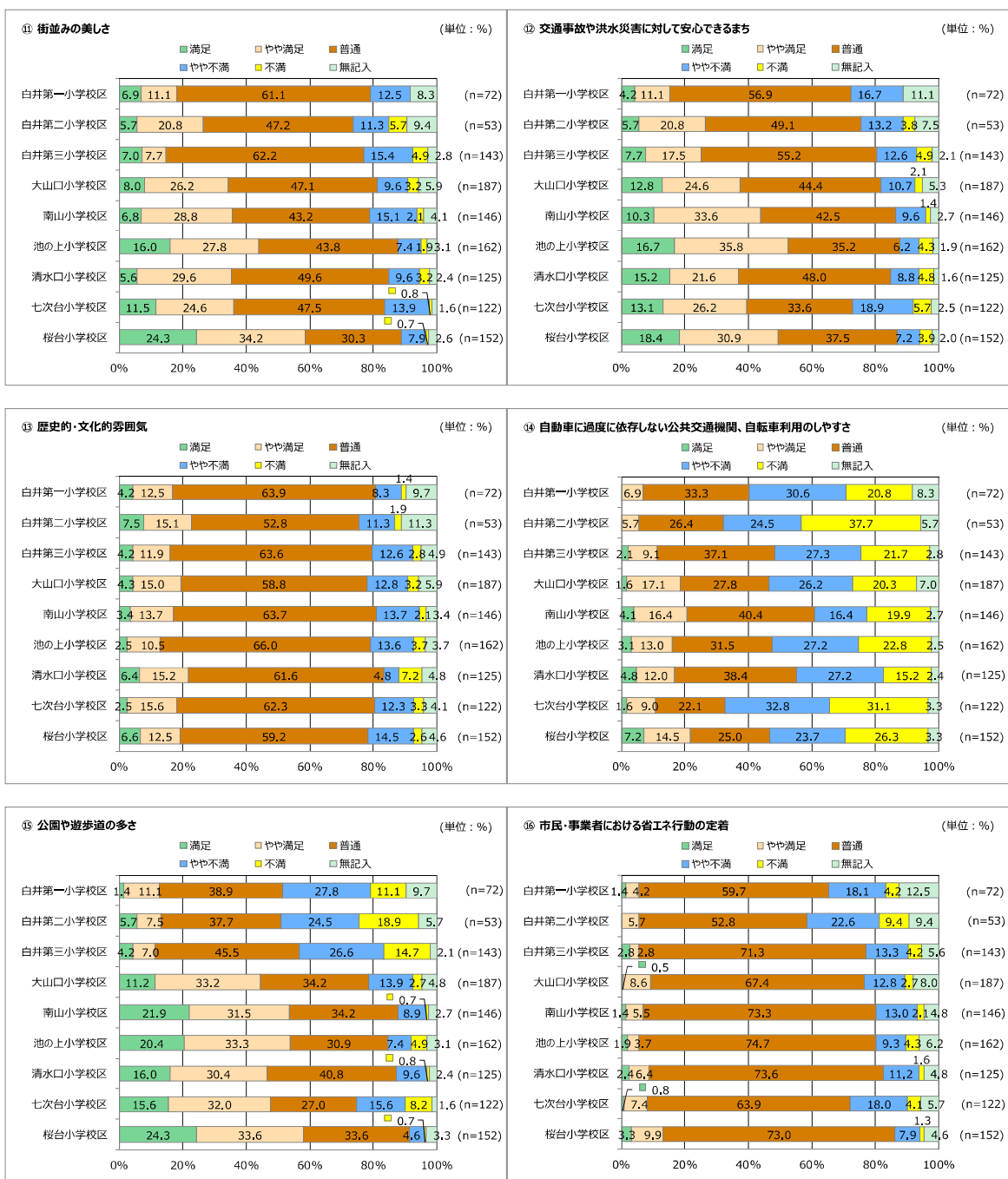
e. クロス集計(居住地区)

● 満足度

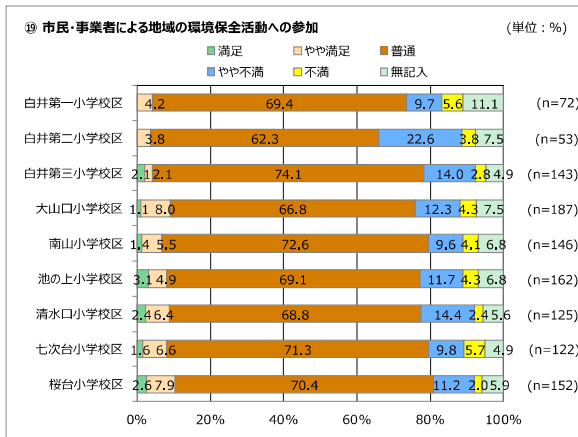
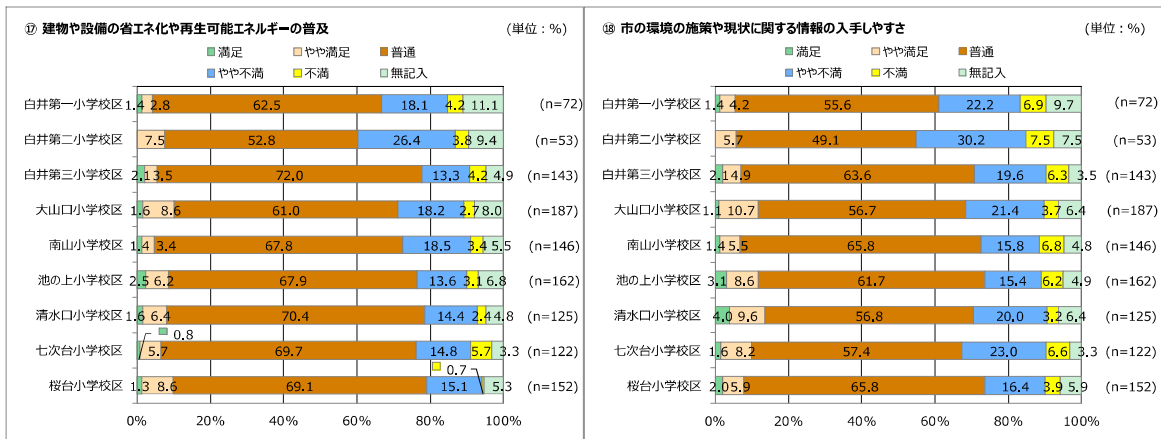
- ・ 白井第一小学校区、七次台小学校区の「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。一方、池の上小学校区、桜台小学校区は満足と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・ 白井第一小学校区、白井第二小学校区、白井第三小学校区の「⑮公園や遊歩道の多さ」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・ 白井第二小学校区の「①空気のきれいさ」、「④住まい周辺の清潔さ」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・ 池の上小学校区の「①空気のきれいさ」を満足と答えた人の割合が多い傾向にある。











● 重要度

- ・1位の結果を見ると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は大山口小学校区で高い傾向にある。
- ・1位の結果を見ると、「⑤市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展」は白井第二小学校区、白井第三小学校区で高い傾向にある。

※グラフは次ページに掲載



⑤ 5. 望ましい環境像

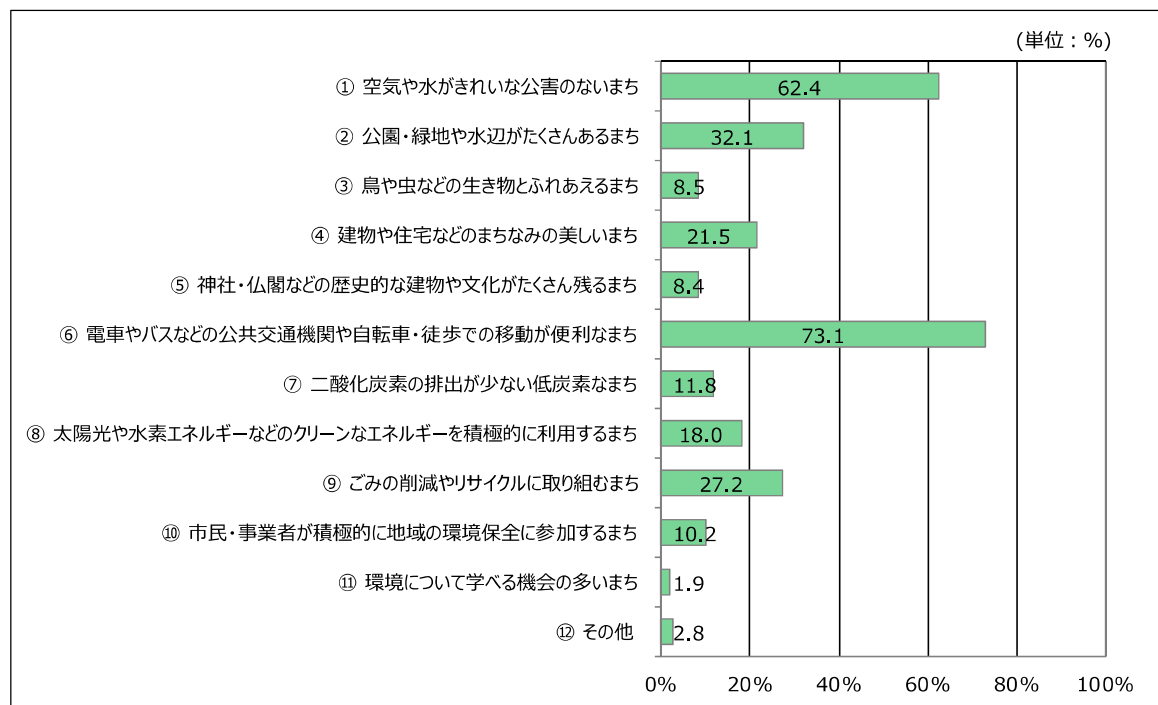
A. Q13

概ね10年後に実現することが望ましい市の環境像はどれですか。  
該当する番号に○をつけて下さい。(○は3つまで)

- ① 空気や水がきれいな公害のないまち
- ② 公園・緑地や水辺がたくさんあるまち
- ③ 鳥や虫などの生き物とふれあえるまち
- ④ 建物や住宅などのまちなみの美しいまち
- ⑤ 神社・仏閣などの歴史的な建物や文化がたくさん残るまち
- ⑥ 電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち
- ⑦ 二酸化炭素の排出が少ない低炭素なまち
- ⑧ 太陽光や水素エネルギーなどのクリーンなエネルギーを積極的に利用するまち
- ⑨ ごみの削減やリサイクルに取り組むまち
- ⑩ 市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち
- ⑪ 環境について学べる機会の多いまち
- ⑫ その他 ( )

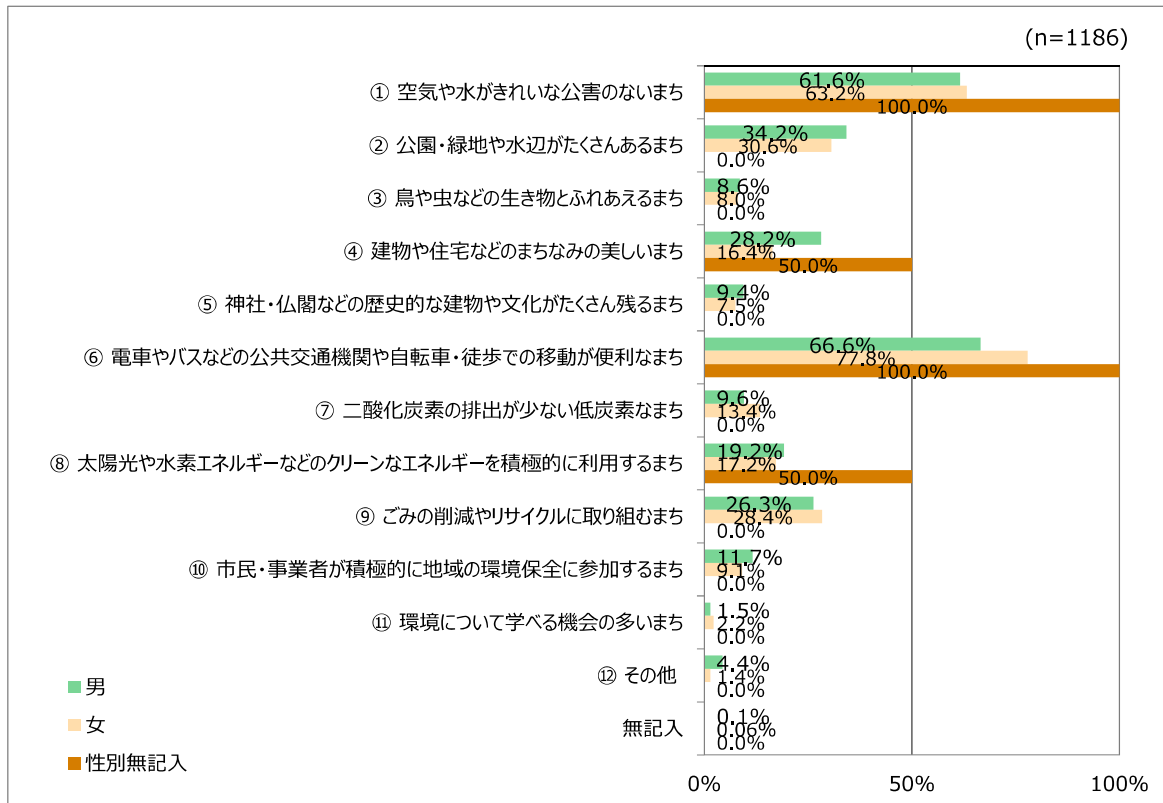
a. 全体

・「⑥電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち」が73.1%と最も高く、「①空気や水がきれいな公害のないまち」が62.4%と次いで高くなっている。  
・「⑪環境について学べる機会の多いまち」は1.9%と最も低い。



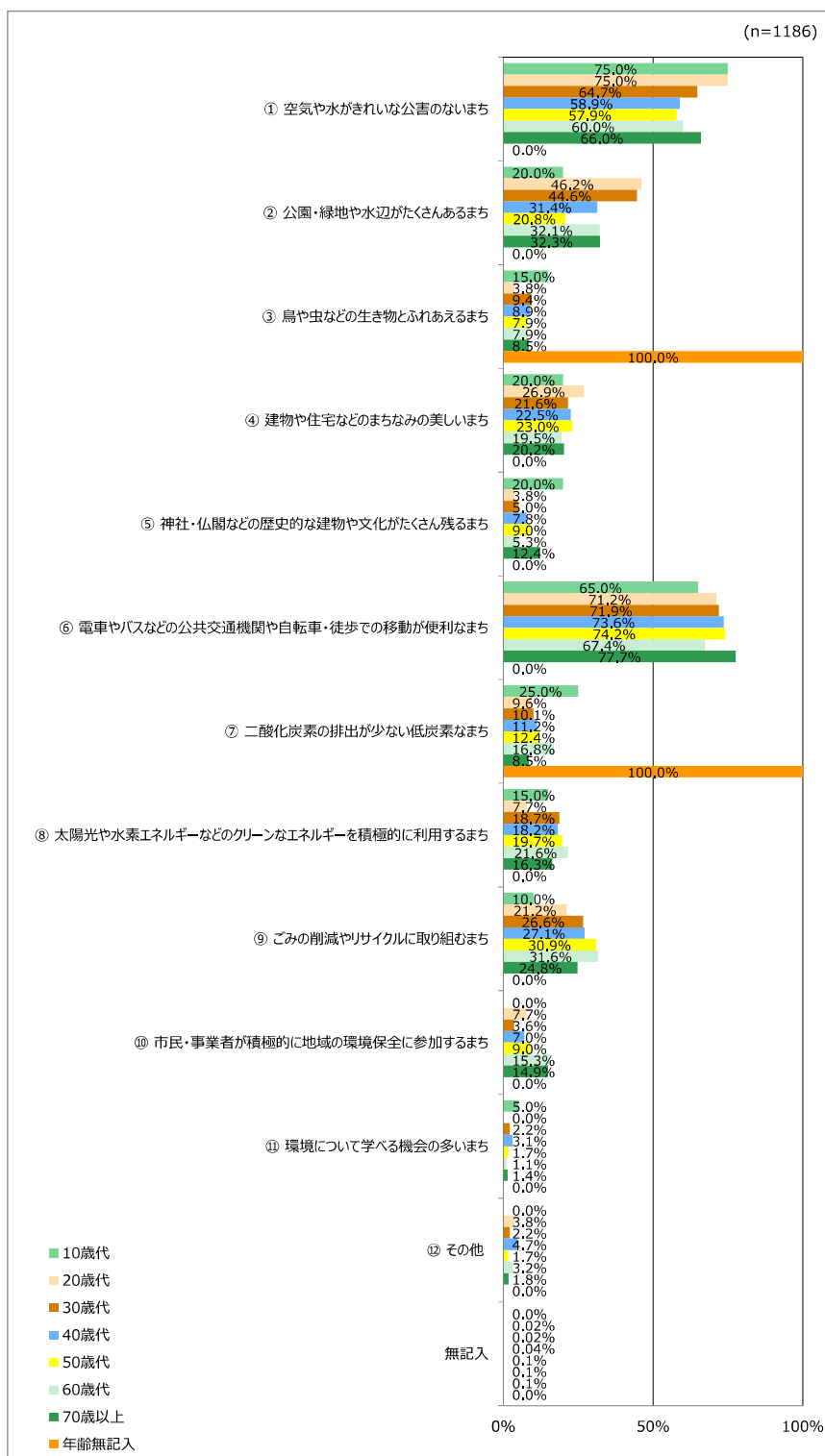
b. クロス集計(性別)

・「④建物や住宅などのまちなみの美しいまち」は男性の回答率が高い傾向にあり、「⑥電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち」は女性が高い傾向にある。



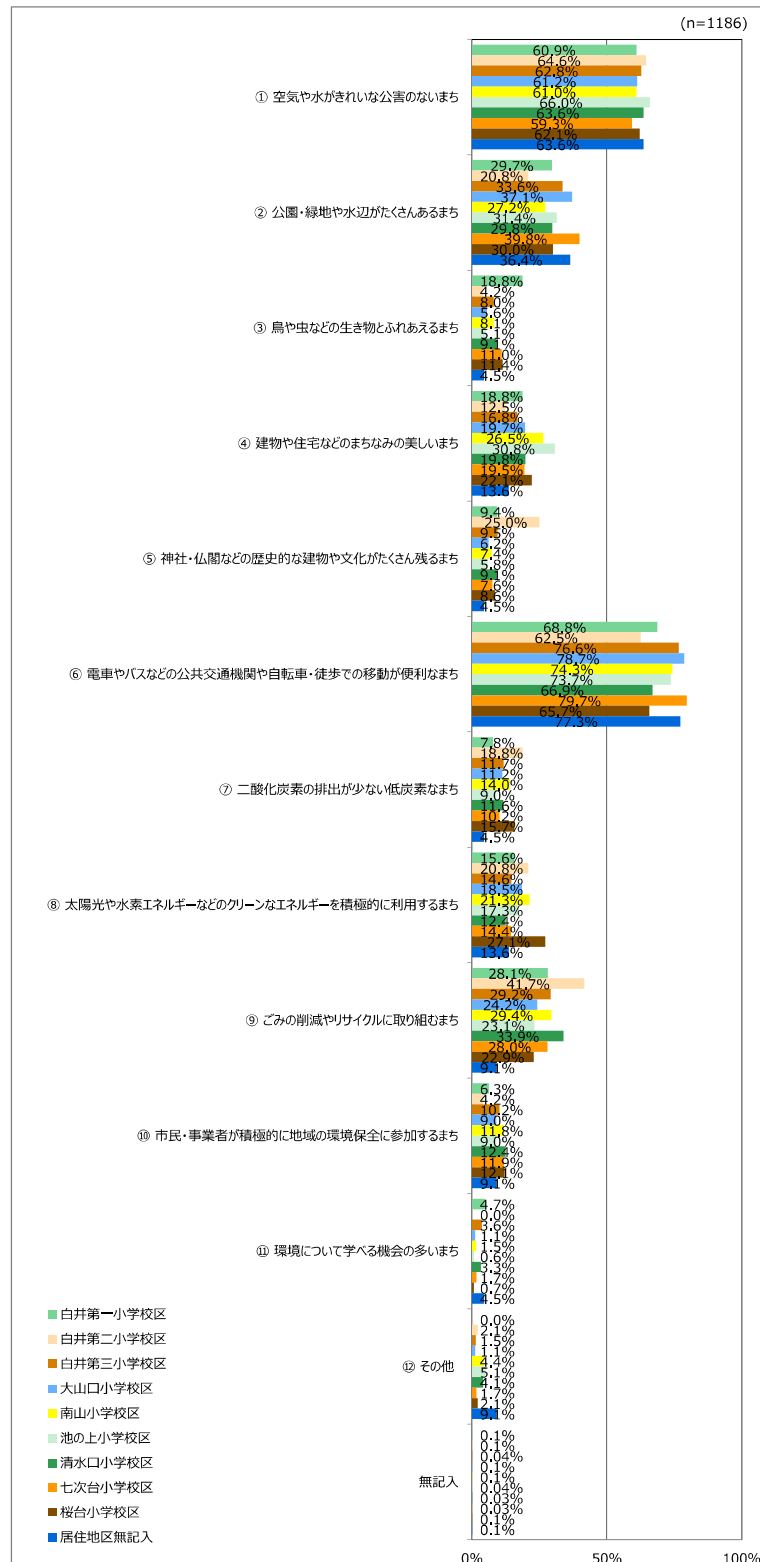
c. クロス集計(年齢)

- ・ 60代以上は「⑩市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち」の回答が多い傾向にある。
- ・ 20代は「①空気や水がきれいな公害のないまち」の回答が多い傾向にある。
- ・ 20代、30代は「②公園・緑地や水辺がたくさんあるまち」の回答が多い傾向にある。



d. クロス集計(居住地区)

- ・白井第二小学校区で「⑤神社・仏閣などの歴史的な建物や文化がたくさん残るまち」、「⑨ごみの削減やリサイクルに取り組むまち」の回答が多い傾向にある。
- ・白井第一小学校区で「③鳥や虫などの生きものとふれあえるまち」の回答が多い傾向にある。



⑥ 6. 大切だと思うまたは将来に残したい場所について

A. Q14

市内の環境に関してあなたが大切だと思うまたは将来に残したい場所がありますか。具体的な名称（場所）とその理由を下欄に記入して下さい。（3つまで）（自由記述）	
具体的な名称（場所）	理由

a. 全体

・大切と思う場所の回答で最も多かったのは「七次川調整池」の76件であった。理由は「オオハクチョウの観察ができるから」などオオハクチョウに関するものが多い。次いで、今井の桜の34件が多い。

・公園など市民が活用する機会の多い場所を残したいという回答が多い傾向にある。

大切だと思うまたは将来に残したい場所 （回答数上位5ヶ所）	回答数	主な理由
七次川調整池	76	・オオハクチョウの観察ができる ・水鳥を見ることができる
今井の桜	34	・桜並木がきれい ・田園風景と調和している
白井総合公園	30	・子どもから大人まで多目的に楽しめる ・広場などのびのびできる場所がある
南山公園	21	・散歩やジョギングコースになっている ・自然豊かで、四季を通じて鳥や昆虫が観察できる
十余一公園	18	・緑豊かで静かに過ごせる ・池があり、水辺の生きものを見ることができる

⑦ 7. 環境に関する情報の認知度

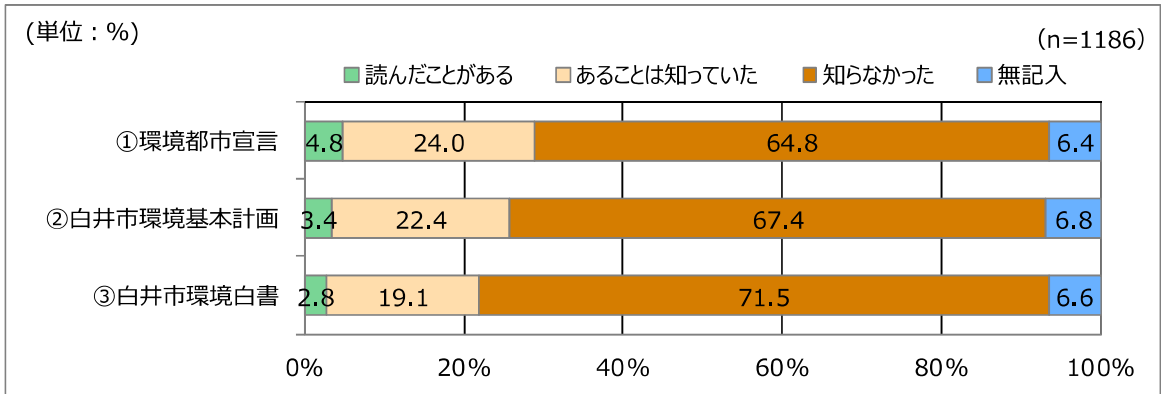
A. Q15

あなたは「環境都市宣言」「白井市環境基本計画」「白井市環境白書」についてご存じですか。次ページの該当する番号に○をつけて下さい。（各項目につき○はひとつ）
① 読んだことがある ② あることは知っていた ③ 知らなかった



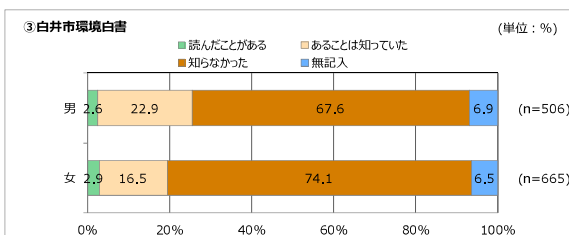
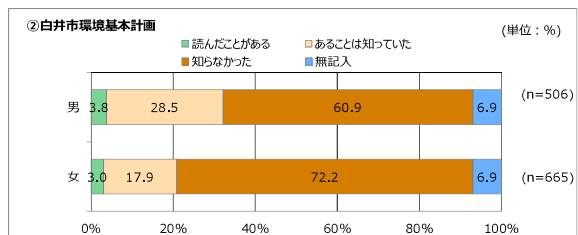
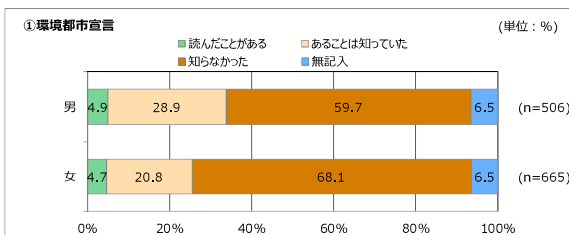
a. 全体

・各項目とも、「読んだことがある」の回答は数%であり、「知らなかった」の回答が65%~72%となっている。



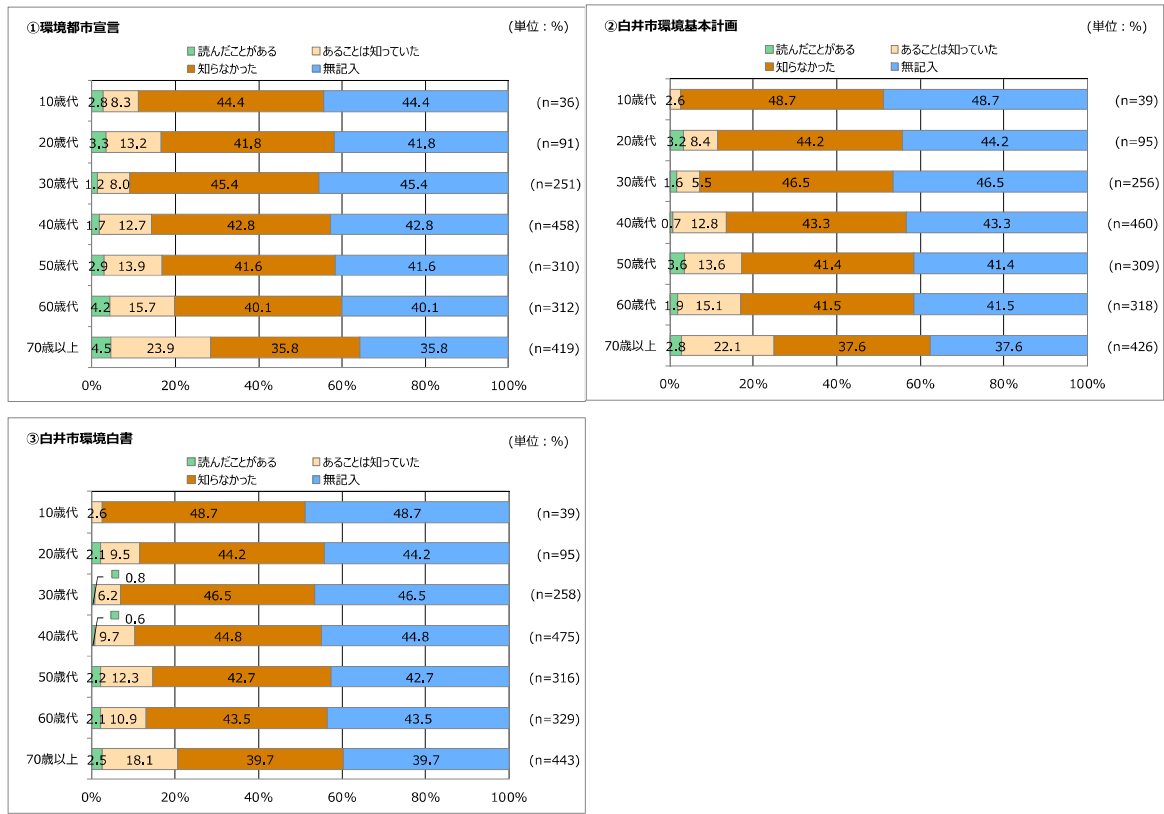
b. クロス集計(性別)

・全ての項目で男性の方が認知度（読んだことがあるとあることは知っていたの合計値）が高い傾向にある。



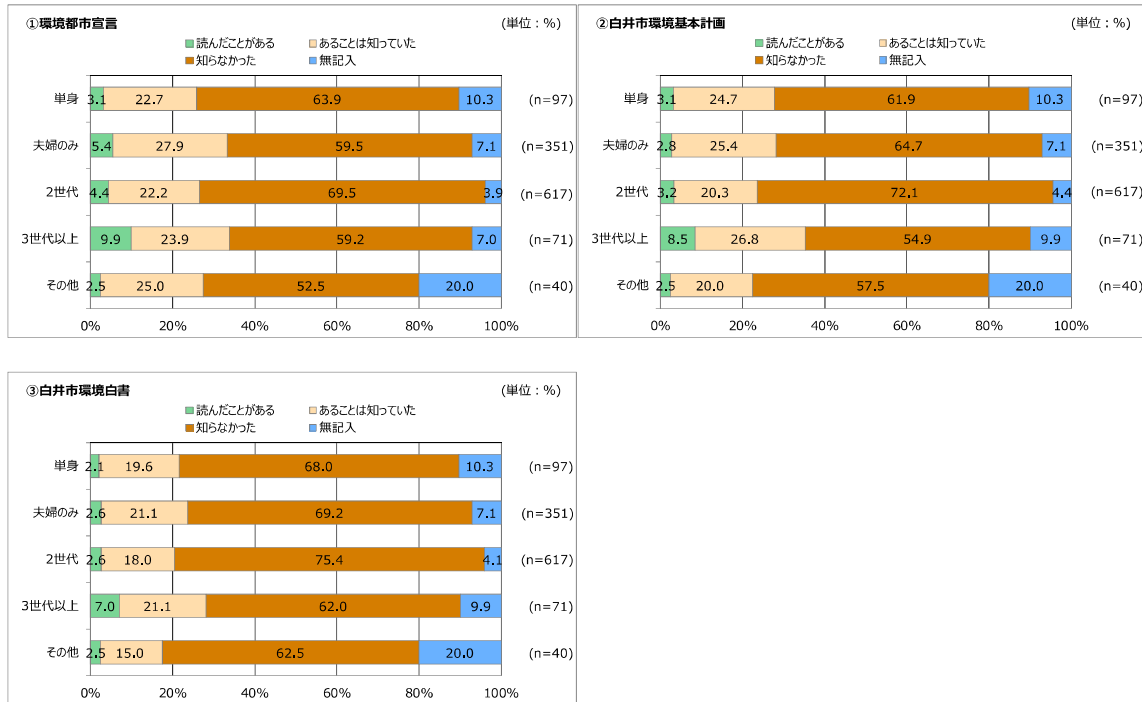
c. クロス集計(年齢)

- ・全ての項目で認知度は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。
- ・全ての項目で70歳以上の認知度が最も高い傾向にある。



d. クロス集計(家族構成)

・全ての項目で認知度は3世代以上の世帯が高い傾向にあり、単身と2世代が低い傾向にある。



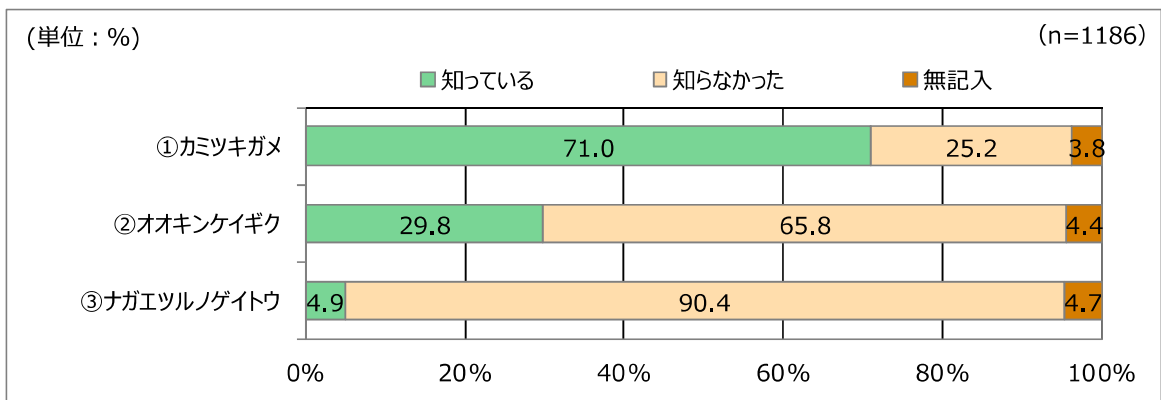
B. Q16

あなたは市内で確認されている特定外来生物についてご存じですか。該当する番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)

①知っている  
②知らない

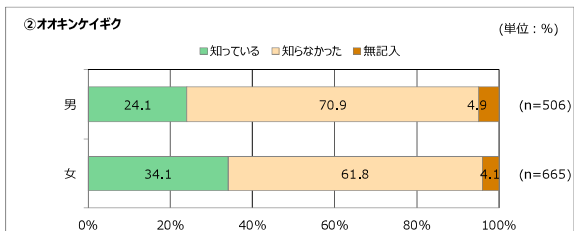
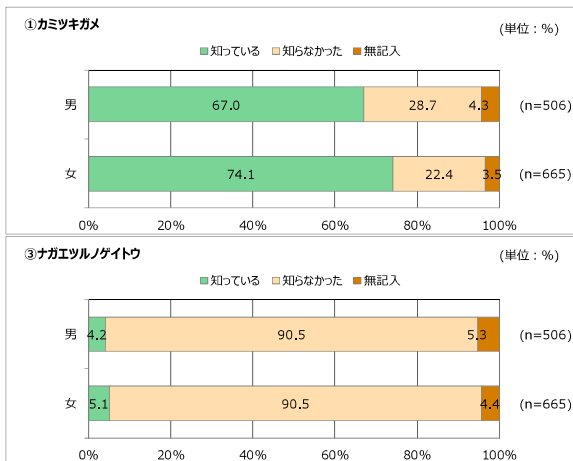
a. 全体

・「①カミツキガメ」の認知度は71.0%と高い。  
・「③ナガエツルノゲイトウ」の認知度は4.9%と低く、「②オオキンケイギク」は29.8%である。



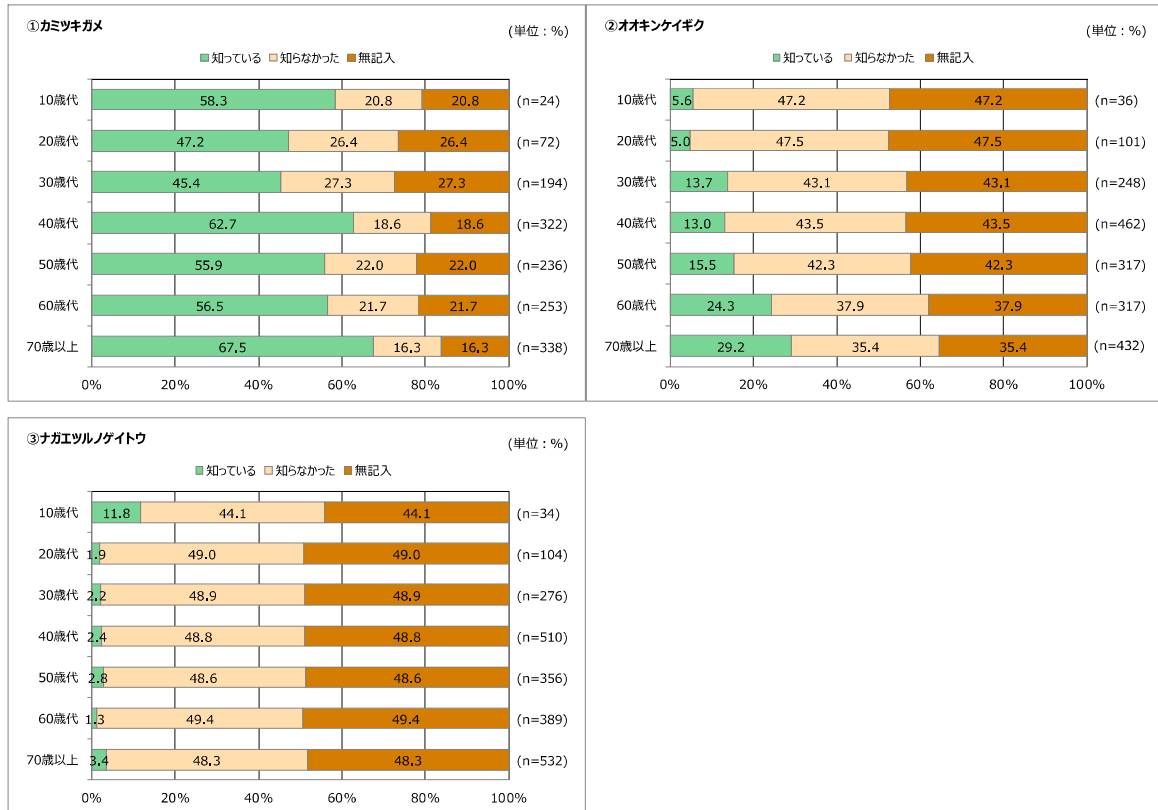
b. クロス集計(性別)

・全ての項目で認知度は女性のほうが高い傾向にある。



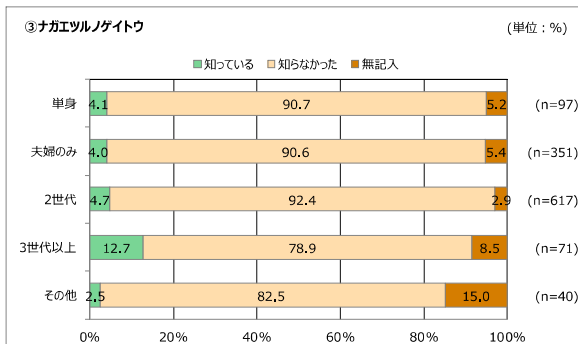
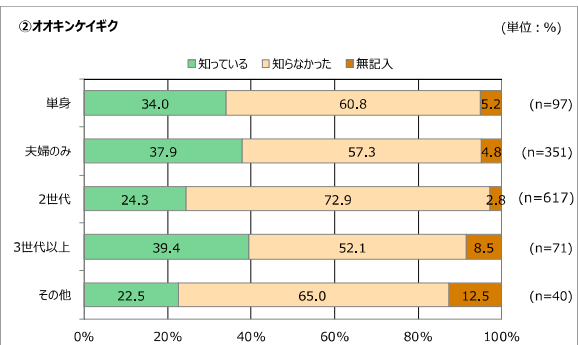
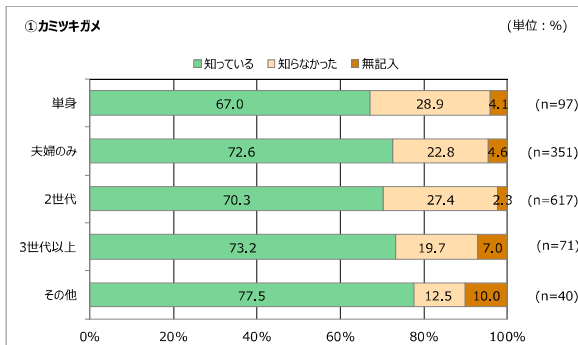
c. クロス集計(年齢)

- ・「①カミツキガメ」の認知度は20代、30代で低い傾向にある。
- ・「③オオキンケイギク」の認知度は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。



d. クロス集計(家族構成)

- ・ 2世代世帯の「②オオキンケイギク」の認知度は低い傾向にある。
- ・ 3世代以上の世帯の「③ナガエツルノゲイトウ」の認知度は高い傾向にある。



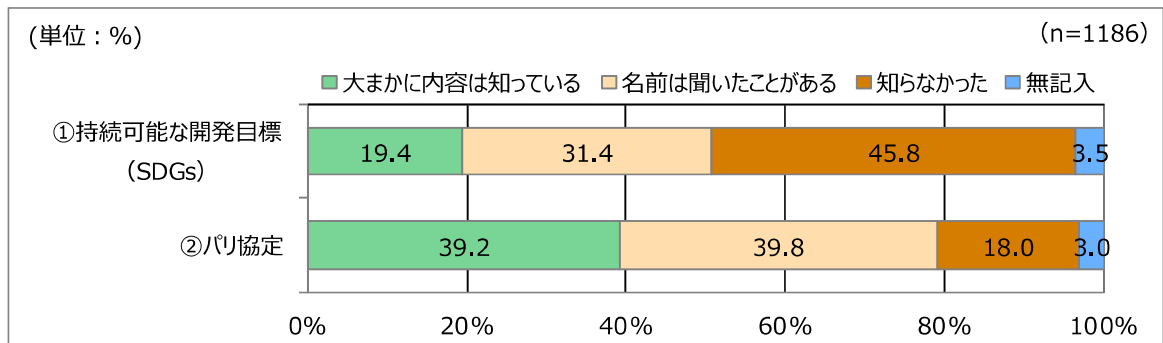
C. Q17

あなたは国際的な環境に関する動向である「持続可能な開発目標（SDGs）」「パリ協定」についてご存じですか。次ページの該当する番号に○をつけて下さい。（各項目につき○はひとつ）

①大まかに内容は知っている  
 ②名前は聞いたことがある  
 ③知らない

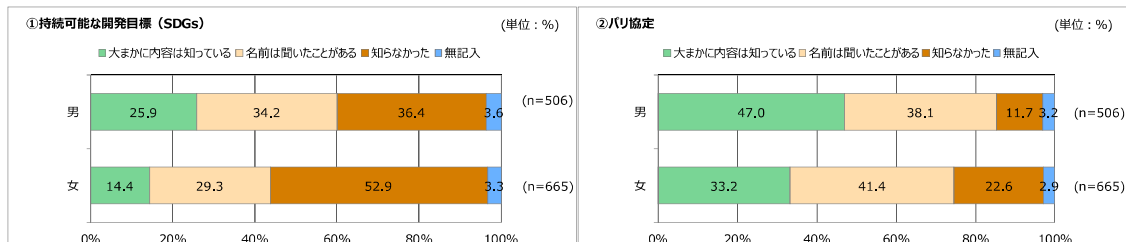
a. 全体

・認知度（大まかに内容は知っていると名前は聞いたことがあるの合計値）は「①持続可能な開発目標（SDGs）」が50.8%、「②パリ協定」が79.0%となっている。



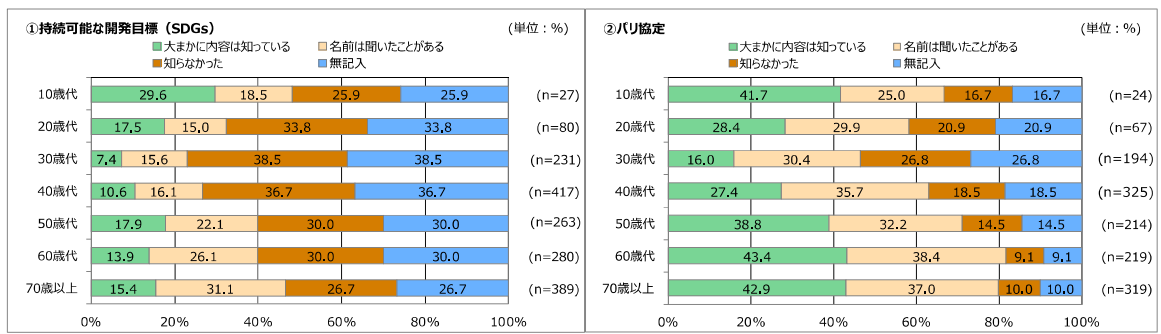
b. クロス集計(性別)

・「①持続可能な開発目標（SDGs）」、「②パリ協定」ともに男性の認知度が高い傾向にある。



c. クロス集計(年齢)

- ・「①持続可能な開発目標 (SDGs)」は30代、40代の認知度が低い傾向にある。
- ・「②パリ協定」は30代の認知度が低い傾向にある。





⑧ 8. 市に望む環境施策

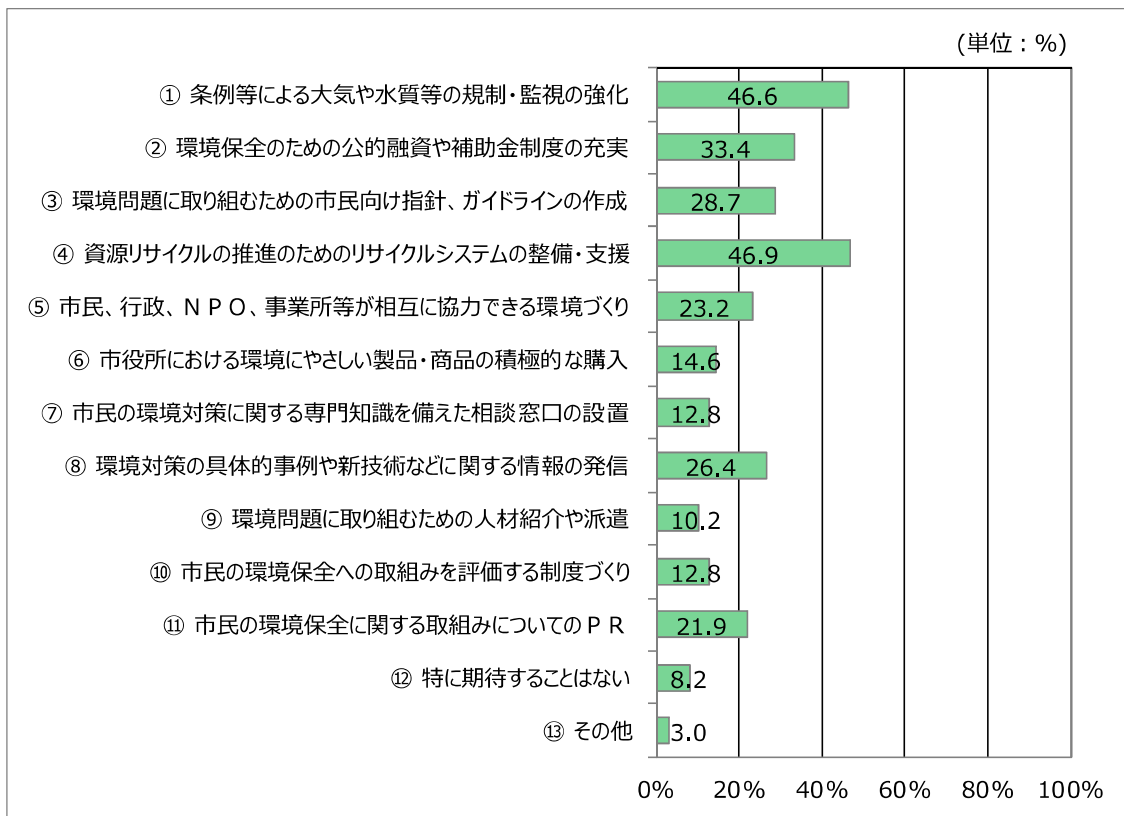
A. Q18

あなたが環境配慮に関して市に望む環境施策は何ですか。  
該当する番号に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- ① 条例等による大気や水質等の規制・監視の強化
- ② 環境保全のための公的融資や補助金制度の充実
- ③ 環境問題に取り組むための市民向け指針、ガイドラインの作成
- ④ 資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援
- ⑤ 市民、行政、NPO、事業所等が相互に協力できる環境づくり
- ⑥ 市役所における環境にやさしい製品・商品の積極的な購入
- ⑦ 市民の環境対策に関する専門知識を備えた相談窓口の設置
- ⑧ 環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信
- ⑨ 環境問題に取り組むための人材紹介や派遣
- ⑩ 市民の環境保全への取組みを評価する制度づくり
- ⑪ 市民の環境保全に関する取組みについてのP R
- ⑫ 特に期待することはない
- ⑬ その他 ( )

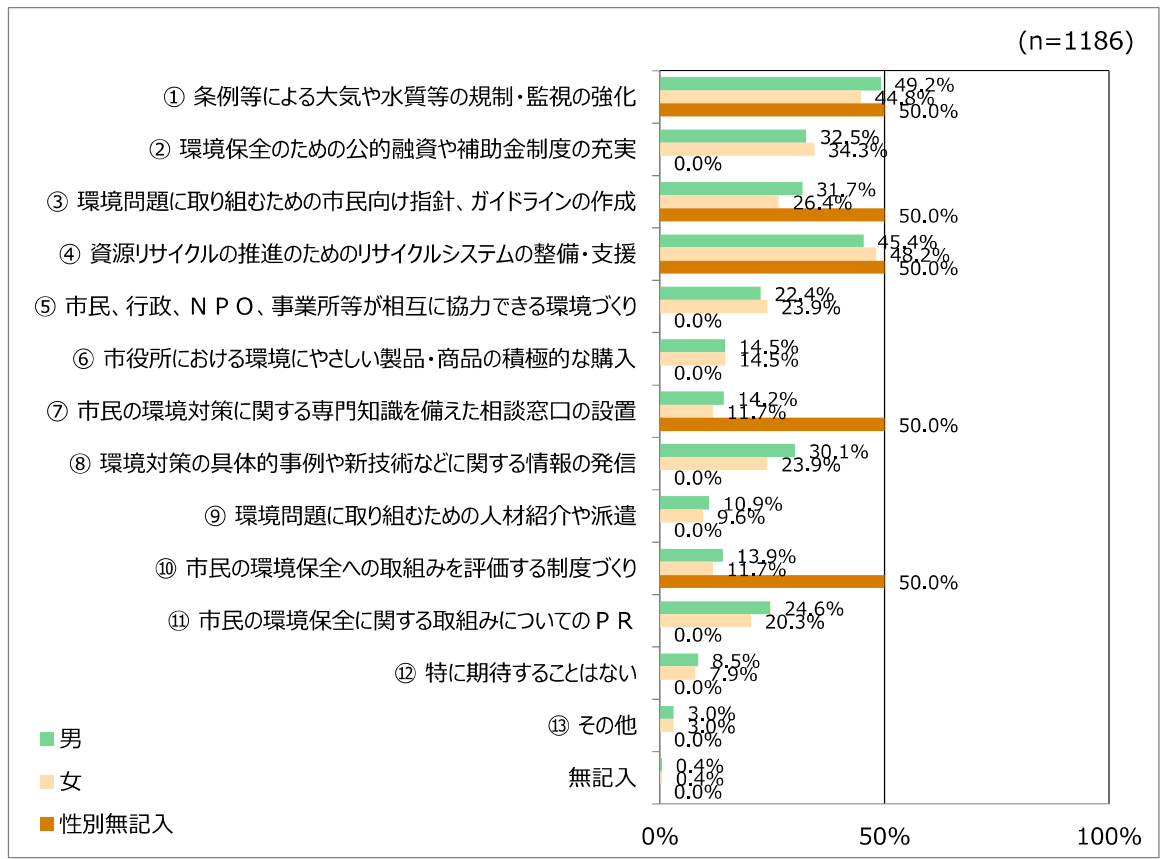
a. 全体

- ・「④資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援」が46.9%と最も高く、次いで「①条例等による大気や水質等の規制・監視の強化」が46.6%と高い。
- ・「⑨環境問題に取り組むための人材紹介や派遣」が10.2%と最も低い。



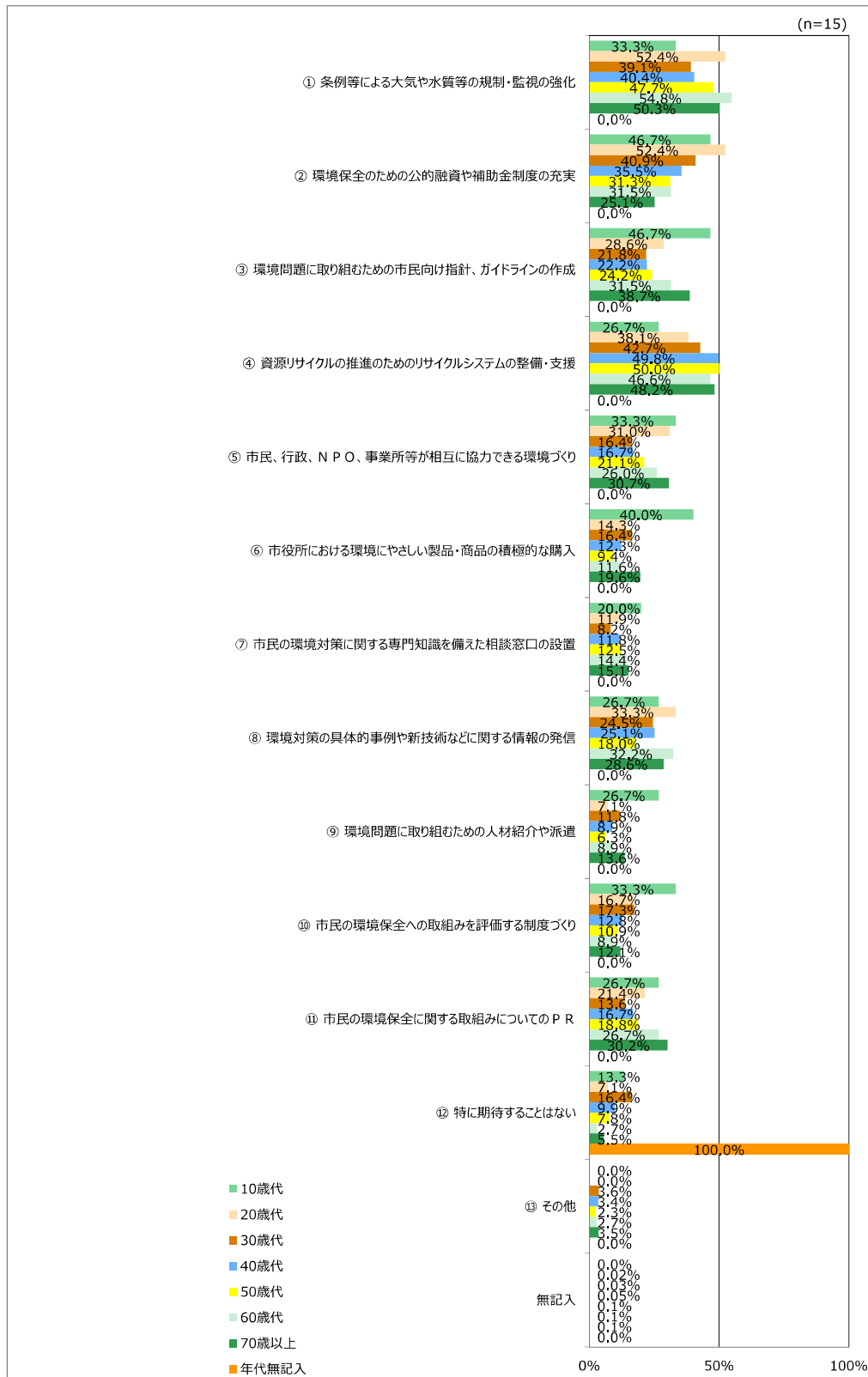
b. クロス集計(性別)

・「③環境問題に取り組むための市民向け指針、ガイドラインの作成」、「⑧環境対策の具体的な事例や新技術などに関する情報の発信」は男性の回答率が高い傾向にある。



c. クロス集計(年齢)

・「①条例等による大気や水質等の規制・監視の強化」は30代、40代で低い傾向にある。  
 ・「②環境保全のための公的融資や補助金制度の充実」は年齢が上がると低くなる傾向にある。



d. クロス集計(家族構成)

- ・ 3世代以上の世帯は「⑧環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信」や「⑪市民の環境保全に関する取組みについてのPR」が高い傾向にある。
- ・ 「⑤市民、行政、NPO、事業所等が相互に協力できる環境づくり」は単身、3世代以上の世帯で高い傾向にある。



## ⑨ 9.市の環境に関する意見

## A. Q19

白井市の環境について、お気づきのことやご意見などがありましたら、自由に記入して下さい。

- ・366名から計375件の自由意見があった。
- ・景観（ごみのポイ捨て）や鉄道・バス、道路（道路・歩道の整備）に関する意見が多くみられた。

中分類	件数
交通安全・防犯	11
鉄道・バス	49
大気汚染	21
騒音・振動	15
ごみ・リサイクル	20
悪臭・化学物質	7
街路樹・植栽管理	19
不法投棄	7
水辺・治水・生活排水	15
野生生物・ペット	18

中分類	件数
公園・緑地	22
道路・公共施設整備	29
環境保全活動	14
農地・農業	15
飲用水の安全	3
景観・街並み	30
情報発信	24
全般・その他	57
合計	375

## ◎交通安全・防犯（11件）

- ・街路灯がついていないことがしばしばある。LED化し電力消費と防犯を一度に改善してほしい。
- ・道路の整備や信号等の設置を充実させ、交通事故防止対策を強化してほしい。
- ・市内全体が暗い。大きな通りでも暗いが、住宅地内などでは真っ暗な場所もある。
- ・横断歩道の白線がはがれていて、ドライバーが気づかないことがある。

## ◎鉄道・バス（48件）

- ・北総線の運賃の高さに困っている。
- ・もっと市民と話し合い、公共交通機関の改善を。
- ・バスの本数が少ない。
- ・ナッシー号の路線が減って、移動が不便になった。
- ・自動車がないと移動が不便。

## ◎大気汚染（21件）

- ・畑・梨園・住宅地での野焼きをなくしてほしい。
- ・住宅地の薪ストーブの利用を規制してほしい。
- ・工場による大気汚染が気になる。
- ・トラックの通行が多く、空気が悪い。

◎騒音・振動（14件）

- ・工業団地近くの騒音が気になる。
- ・近所の楽器による騒音が気になる。
- ・下総基地があり、飛行機による騒音が気になる。
- ・バイクの騒音対策をしてほしい。特に夜間の騒音が気になる。

◎ごみ・リサイクル（20件）

- ・有価物回収を積極的に行って欲しい。
- ・粗大ゴミの料金が値上げされて高くなった。
- ・ゴミ出しルールを守っていない人が多い。
- ・プラゴミを入れる袋を小さくしてほしい（小型版も販売してほしい）。大きさが種類しかなく大きすぎる。
- ・年末年始のゴミ収集の回数を増やしてほしい。
- ・夏場など可燃ゴミの収集を、週3日にして欲しい。
- ・クリーンセンターへのごみの持ち込み方法が非常に手間。直接持ち込みできるようにしてほしい。※「搬入許可証交付申込書」交付が平日しかできないため
- ・白井市内のスーパー、薬局、お店全体で簡易包装を心がけてほしい。

◎悪臭・化学物質（7件）

- ・畑の肥料のにおいが気になる。
- ・時期や風向きによって養豚場から住宅地に悪臭が流れてくる。
- ・工業団地の産廃工場の悪臭がひどい。
- ・ゴミを燃やした臭いが洗濯物にしみこんでいることがある。

◎街路樹・植栽管理（19件）

- ・白井駅前からの遊歩道の植栽をきれいに保ってほしい。
- ・植栽を見ていると、開花しない花が多くなってきている。
- ・街路樹について、現在では老朽化が進んでいるものも少なくない。
- ・風間街道の歩道の草がのびっばなしなのが毎年気になる。（8～10月くらい）
- ・道路沿いの除草をこまめにやってほしい。道幅が狭くなったり視界が悪くなったり危ない。
- ・街路樹に毛虫がたかっているのが気になる。

◎不法投棄（7件）

- ・空地への不法投棄が目につく。
- ・人通りの少ない道沿いに粗大ごみが捨てられていることがある。

◎水辺・治水・生活排水（15件）

- ・七次川調整池の水が汚いことがあるので、きれいにしてほしい。
- ・富士地区の浄化槽を廃止して、下水道にしてほしい。

- ・2019年夏～秋の台風、大雨の時にあちこちの道路で排水が滞り、思いがけないところから水が出ていた。
- ・十余一公園の池が汚れていると感じる。
- ・川の整備はコンクリート化以外も考えてほしい。

#### ◎野生生物・ペット（18件）

- ・犬のふんが回収されず落ちているのが気になる。
- ・外来生物である「ナガミヒナゲシ」の生育が多く個人的に駆除活動を行っているが、すべての駆除は困難。注意喚起をしていただけると周知されていい。
- ・セイタカアワダチソウの駆除を積極的にしてほしい。
- ・作物を作っていない田畑も多く、イノシシやハクビシンが増えて困っている。
- ・夏場のムクドリの大量発生で桜並木が枯れないか心配。
- ・数年前より宅地化が進んだせいか、昆虫が少なくなっているのが気になる。

#### ◎公園・緑地（22件）

- ・林などの緑地を維持してほしい。
- ・桜・梨の花は市外に周知をしてもいいと思う。
- ・ボール遊びや花火ができる公園がほしい。
- ・市民公園が放置されているので整備してほしい。
- ・公園の遊具が少ないと感じる。
- ・公園内にベンチを増やしてほしい。
- ・金山落周辺の緑地を保全してほしい。

#### ◎道路・公共施設整備（29件）

- ・補修されていない道路を早く補修してほしい。
- ・以前と比べて道が整備されてきている。
- ・福祉センター前から市役所までの道路工事を早く終わらせてほしい。
- ・週末の渋滞を緩和してほしい。
- ・昔からある道路や駅から離れた道路は歩道が狭く、危ない。
- ・七次橋の小川添いの小道を散歩やジョギング又はサイクリングロードを整備してほしい。

#### ◎環境保全活動（14件）

- ・千葉ニュータウン全体での広域環境保全に取り組むべき。
- ・子供達がまずは自分の学区の環境を保全しようという活動があるとよい。
- ・「ナゾトキウォーキング」や「環境フォーラム」の体験活動など、子どもにまずは興味を持たせるという活動は功を奏していると思うので、今後も継続してほしい。

#### ◎農地・農業（15件）

- ・梨畑が減ってきて寂しい。
- ・使われなくなった畑等の荒れ地が目立つ。

- ・ナガエツルノゲイトウの田んぼの被害が大きいのので、対処をお願いしたい。
- ・特に市街化調整区域にある農地が荒れてきているように感じる。

◎飲用水の安全（3件）

- ・水道水が美味しくない。
- ・水道水の放射性物質測定は今後も続けてほしい。

◎景観・街並み（30件）

- ・駅・道路・田畑・公園へのポイ捨てにより景観が損なわれている。
- ・電線等の地下埋設をすればよいと思う。
- ・最近の宅地開発により景観が悪くなったと感じる。
- ・白井駅南口駅前広場の整備。
- ・タバコのポイ捨てが多い。
- ・ポイ捨てをなくすために、ごみゼロ運動を白井市全体で取り組んでほしい。

◎情報発信（24件）

- ・市の環境への取組みを市民に向けて積極的に周知してほしい。
- ・環境課のFacebookをいつも拝見しているので、これからも頑張してほしい。
- ・地元の人しか知らない自然と触れ合える場所などあったら、広報誌などで紹介してほしい。
- ・ISO14001に基づく評価結果等を定量的に環境白書に明記してほしい。
- ・広報しろいに環境についてのコーナーを毎回設けてほしい。

◎全般・その他（57件）

- ・自然との調整がとれていて住みやすい市であると思う。
- ・緑の豊かな白井を維持してほしい。
- ・都内等と比べて自然が多いと感じる。
- ・環境だけでなく、災害対応も急務であると感じる。
- ・限りある税金なので、環境と他の施策のバランスをとってほしい。
- ・エネファーム等の機器更新時の補助金がほしい。

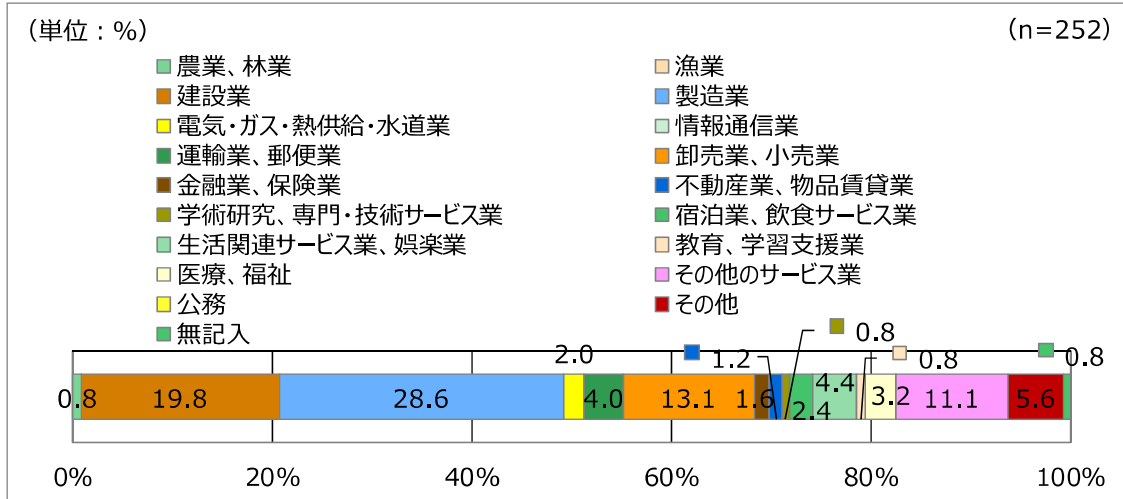


イ) 事業者

① 1. 回答者の属性

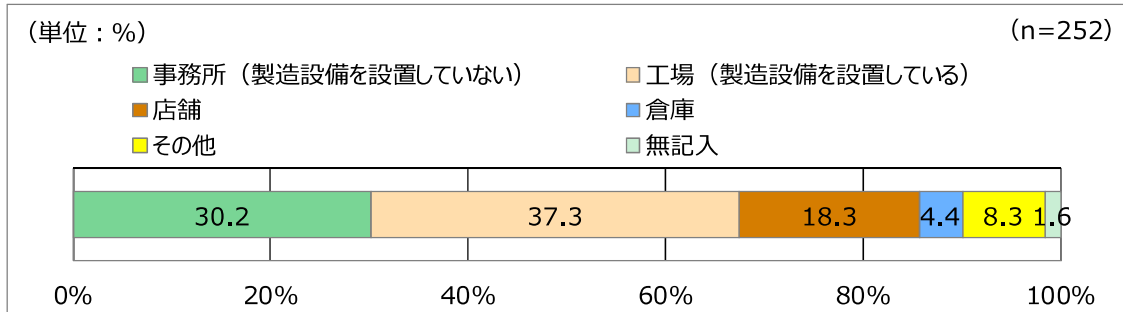
A. Q1 業種

・製造業が28.6%と最も多く、次いで建設業が19.8%と多い。



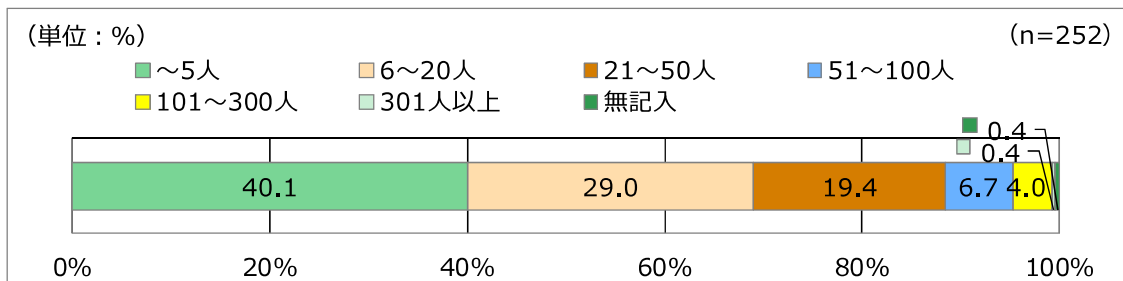
B. Q2 事業所の種類

・工場（製造設備を設置している）が37.3%と最も多く、次いで事務所（製造設備を設置していない）が30.2%と多い。



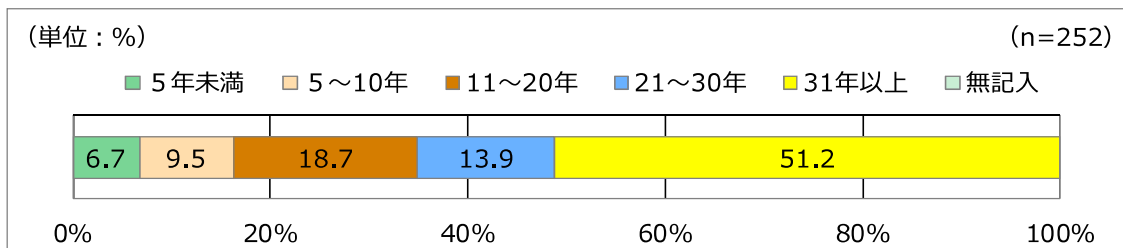
C. Q3 従業員数

・5人以下が40.1%と最も多く、ついで6～20人が29.0%と多い。



D. Q4 事業活動年数

・31年以上が51.2%と最も多く、次いで11～20年が多い。



## ② 2. 環境の保全に関わる行動の実践状況について

## A. Q5

貴事業所内で行っている環境の保全に関わる行動の取組状況について、該当する番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)

## &lt;生活環境&gt;

- ① 事業活動に伴い発生する排煙、排水、廃液、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、化学物質等に関し、公害防止に係る法律や条例を遵守している
- ② 公害防止のため、法律や条例を上回る自主規制基準を設け、運用している
- ③ 事業所内及び周辺の清掃に努めている
- ④ 建築物は周辺の景観との調和を考慮している

## &lt;地球温暖化対策&gt;

- ⑤ 事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている
- ⑥ クールビズ・ウォームビズを励行している
- ⑦ 自動車のアイドリング・ストップや省エネ運転に努めている
- ⑧ 公共交通機関や自転車、徒歩での通勤・移動を励行している
- ⑨ 輸送・配送の合理化に取り組んでいる
- ⑩ 事業所の温室効果ガス排出量やエネルギー消費量を把握している
- ⑪ 省エネ診断やESCO事業を活用し、設備や運用改善を図っている
- ⑫ カーボン・オフセットを利用している
- ⑬ 気候の変化に伴う浸水や熱中症の発生のリスクに備えて対策を行っている

## &lt;ごみの減量・資源化&gt;

- ⑭ 廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクルに努めている
- ⑮ 再生紙やリサイクル品を積極的に購入している
- ⑯ 製品の容器・包装の簡略化に努めている
- ⑰ 食品ロスの削減に努めている

## &lt;自然環境&gt;

- ⑱ 事業所内の緑化に努めている
- ⑲ 生物多様性の保全につながる取組を実施している

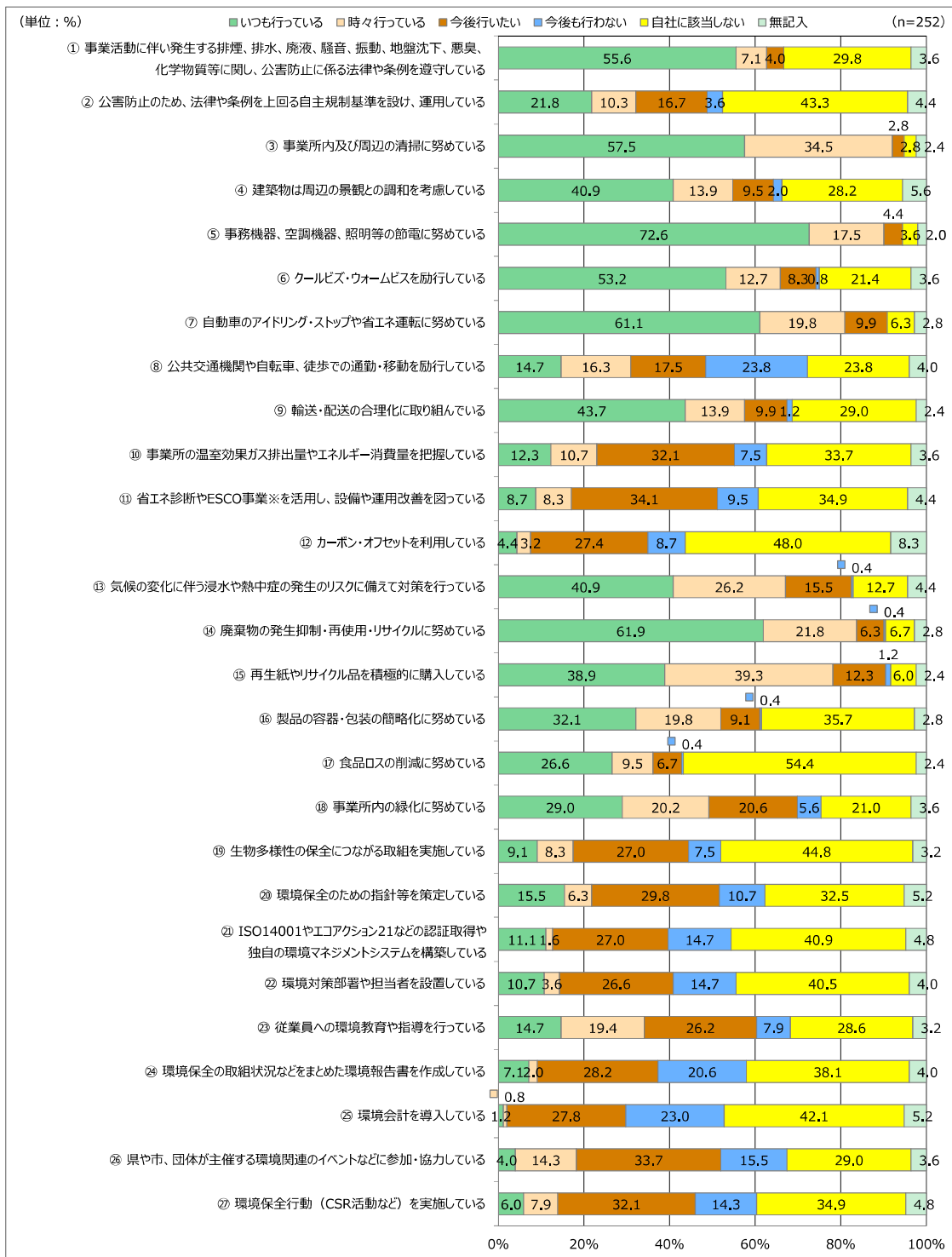
## &lt;環境保全行動&gt;

- ⑳ 環境保全のための指針等を策定している
- ㉑ ISO14001やエコアクション21などの認証取得や独自の環境マネジメントシステムを構築している
- ㉒ 環境対策部署や担当者を設置している
- ㉓ 従業員への環境教育や指導を行っている
- ㉔ 環境保全の取組状況などをまとめた環境報告書を作成している
- ㉕ 環境会計を導入している
- ㉖ 県や市、団体が主催する環境関連のイベントなどに参加・協力している
- ㉗ 環境保全行動（CSR活動など）を実施している

a. 全体

・「③事業所及び周辺の清掃に努めている」の実施率（いつも行っている時々行っているの合計値）が92.0%と最も高く、次いで「⑤事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている」が90.1%と高い。

・「⑫環境会計を導入している」の実施率は2.0%と最も低く、次いで「⑫カーボン・オフセットを利用している」が7.6%と低い。



③ 3. 省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況

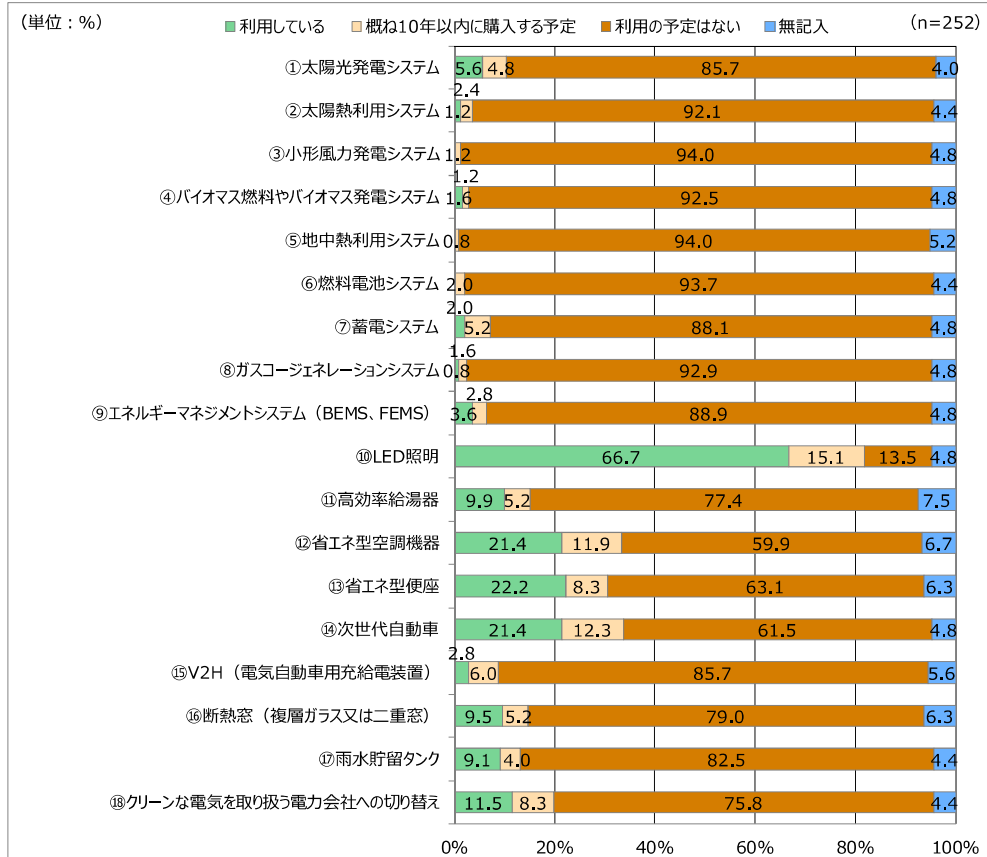
A. Q6

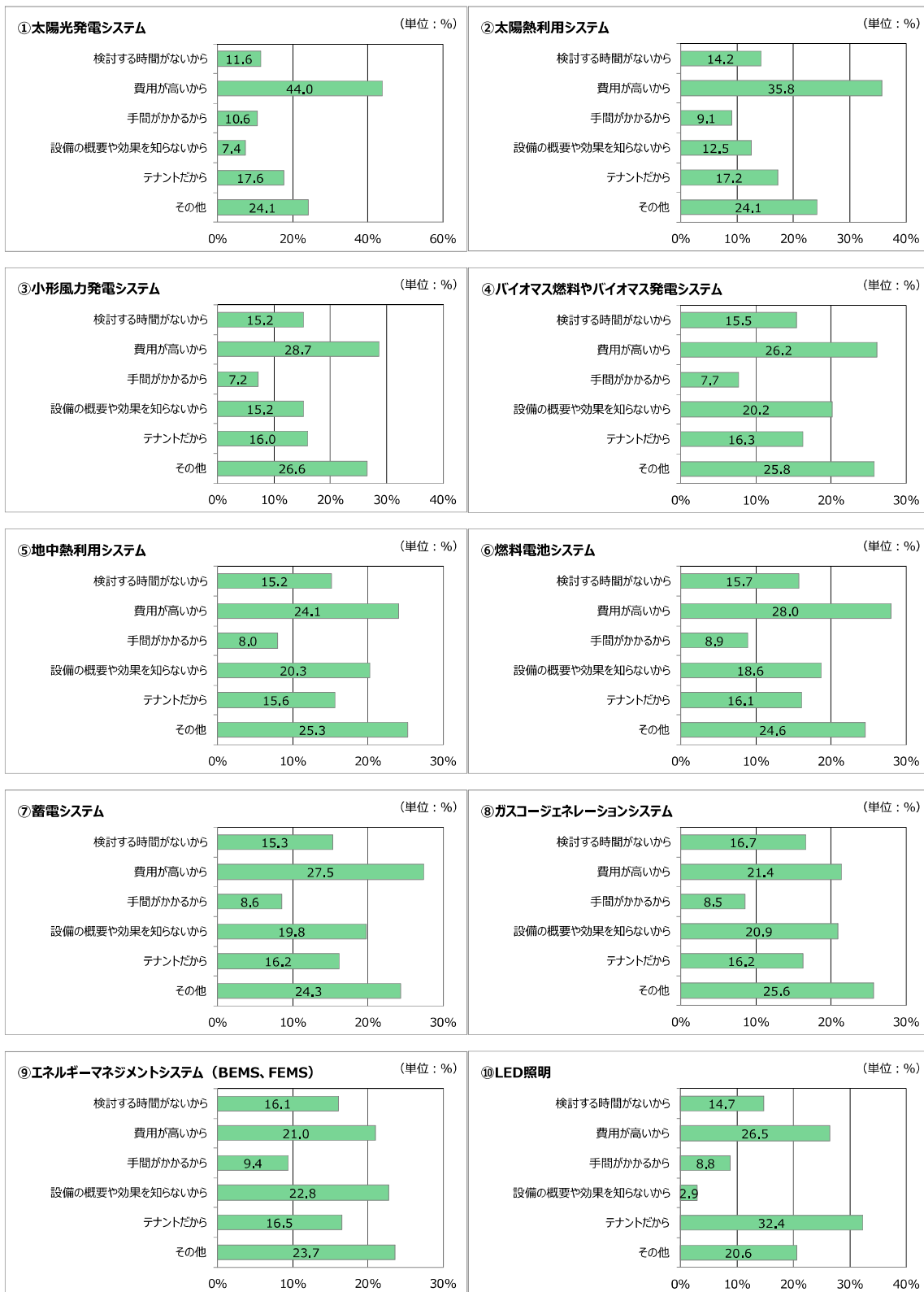
貴事業所では省エネルギーや再生可能エネルギー機器などを利用していますか。 もしくは今後利用する予定はありますか。該当する番号または記号に○をつけて下さい。 (利用状況の○はひとつ、“利用の予定はない”場合の理由の○はいくつでも)	
回答欄1 利用状況(○はひとつ)	回答欄2 “利用の予定はない”場合の理由 (○はいくつでも)
1. 利用している 2. 概ね10年以内に購入する予定 (台数記入欄がある項目は購入予定台数も回答) 3. 利用の予定はない	A. 検討する時間がないから B. 費用が高いから C. 手間がかかるから D. 設備の概要や効果を知らないから E. テナントだから F. その他

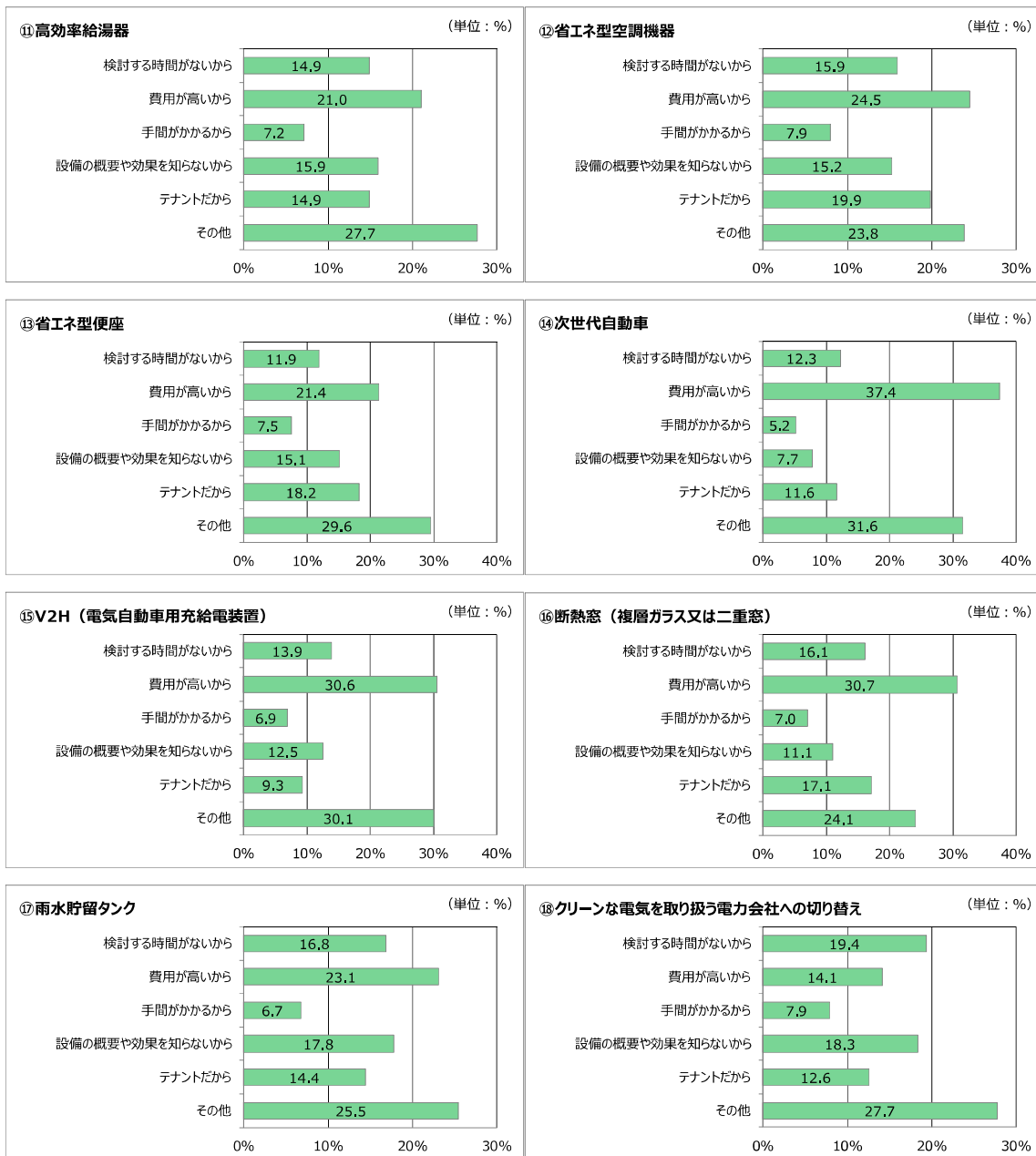
a. 全体

・「⑩LED照明」は66.7%、「⑬省エネ型便座」が22.2%、「⑫省エネ型空調機器」および「⑭次世代自動車」の導入が21.4%と高くなっている。その他の機器については、77%~94%の回答者が利用の予定はないとしている。

・利用の予定がない理由としては、全体的に「費用が高いから」、「テナントだから」の割合が高い。ガスコージェネレーションシステムやエネルギーマネジメントシステムについては、「設備の概要や効果を知らないから」の回答も多い。







④ 4. 市の環境に対する貴事業所の満足度及び重要度

A. Q7

市の環境についてどのように感じていますか。貴事業所の感想に最も近い番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)
満足度
1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

B. Q8

前問Q7の項目1～19のうち、貴事業所が特に重要と考える項目を上位3つ選び、下欄に番号を記入して下さい。
重要度
1位
2位
3位

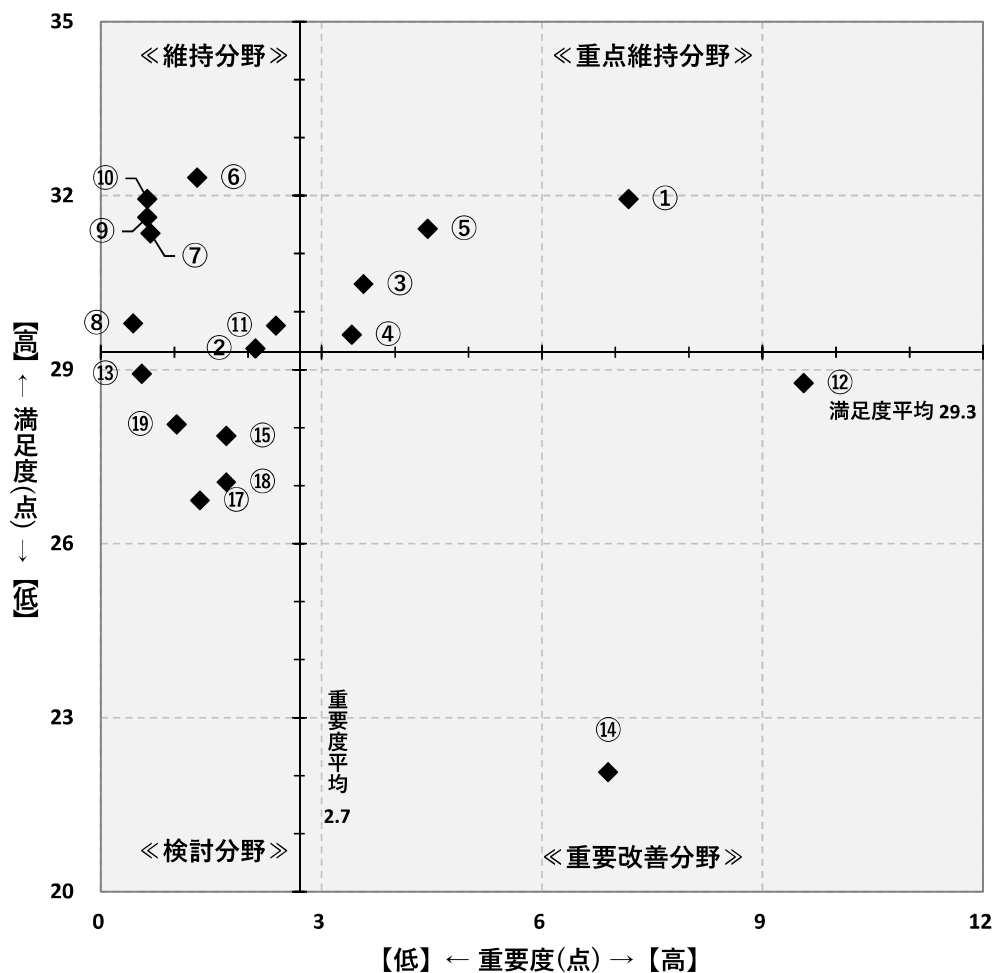


## a. 全体

- ・ 満足度が高い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
  - 1 樹林地や緑地との親しみやすさ (32.31)
  - 2 田園風景の美しさ (31.94)
  - 3 農業や園芸との親しみやすさ (31.63)
  - 4 大気環境改善 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (31.94)
  - 5 生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ (31.35)
- ・ 満足度が低い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
  - 1 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (22.06)
  - 2 建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及 (26.75)
  - 3 市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ (27.06)
  - 4 市民・事業者における省エネ行動の定着 (27.14)
  - 5 公園や遊歩道の多さ (27.86)
- ・ 重要度が高い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
  - 1 交通事故や洪水災害に対して安心できるまち (9.56)
  - 2 大気環境改善 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (7.18)
  - 3 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (6.91)
  - 4 市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展 (4.44)
  - 5 事業所の周辺の静けさ(騒音や振動の少なさ) (3.57)
- ・ 重要度が低い上位5つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
  - 1 河川・湧水等の水辺との親しみやすさ (0.44)
  - 2 歴史的・文化的雰囲気 (0.56)
  - 3 農業や園芸との親しみやすさ (0.64)
  - 4 田園風景の美しさ (0.64)
  - 5 生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ (0.68)
- ・ 「樹林地や緑地との親しみやすさ」、「農業や園芸との親しみやすさ」などの農業や自然環境に関する項目の満足度が高い。重要度の高い項目は幅広い分野にわたっており、「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」が最も重要度が高い。
- ・ 「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が最も低く、「建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及」や「市民・事業者における省エネ行動の定着」の満足度も低い。「河川・湧水等の水辺との親しみやすさ」、「農業や園芸との親しみやすさ」、「田園風景の美しさ」、「生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ」などの農業や生きものに関する項目の重要度は低い。
- ・ 「空気のきれいさ」、「事業所周辺の静けさや清潔さ」、「市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展」が重点維持分野である。
- ・ 「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」、「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」が重点改善分野である。

※ 満足度・重要度の点数化方法は103ページの「散布図の見方」を参照

■ 満足度、重要度の散布 (全体)



〈散布図〉

◆ 満足度と重要度の点数化 (回答者の平均値)

No.	項目	満足度	重要度
①	大気環境改善 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ)	31.94	7.18
②	河川や水路の水の清らかさ	29.37	2.10
③	事業所の周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ)	30.48	3.57
④	事業所の周辺の清潔さ	29.60	3.41
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	31.43	4.44
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	32.31	1.31
⑦	生きもの (野鳥、動植物、昆虫等) との親しみやすさ	31.35	0.68
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.80	0.44
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.63	0.64
⑩	田園風景の美しさ	31.94	0.64
⑪	街並みの美しさ	29.76	2.38
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	28.77	9.56
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.93	0.56
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	22.06	6.91
⑮	公園や遊歩道の多さ	27.86	1.71
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.14	1.35
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.35
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	27.06	1.71
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	28.06	1.03
	平均	29.28	2.68